

長岡市公共建築物適正化計画

第2期計画

(素案)

令和8年度～令和12年度

令和8年 月

長岡市

目次

第1章 計画策定の背景

1 計画の策定に当たって	3
2 第1期計画の総括と現状の課題	4
(1) 第1期計画の取組状況	4
(2) 市が保有する公共建築物	5
ア 公共建築物の保有状況	5
イ 築年別の整備状況	6
(3) 地域別人口の推移	6
(4) 公共建築物の抱える課題	7
ア 人口構造と市民ニーズの変化	7
イ 施設総量の課題	7
ウ 公共建築物の老朽化と費用の増大	7

第2章 計画の基本的な考え方

1 計画の位置付け	8
(1) 計画の目的	8
(2) 計画の期間	8
(3) 計画の対象範囲	9
(4) 施設の分類	10
2 計画策定に当たっての基本的な考え方	11
(1) 基本方針	11
(2) 見直しの視点	12
(3) 取組内容	13
(4) 取組による効果見込み	15
(5) 指標の設定	16

第3章 各施設分類の現状と課題、今後の方針等

1 本庁舎	17
2 分庁舎・窓口	19
3 支所庁舎	21
4 コミュニティセンター・公民館等	23
5 その他の集会施設	30
6 小学校・中学校	32
7 総合支援学校・高等総合支援学校	37

8 給食共同調理場	39
9 教育センター	41
10 子ども・青少年相談センター	43
11 保育園・認定こども園	45
12 児童会館・児童クラブ	48
13 子育ての駅	53
14 児童養護施設	55
15 児童発達支援センター	57
16 高齢者福祉施設（デイサービス事業を除く。）	59
17 デイサービスセンター	61
18 障害者福祉施設	63
19 診療所	65
20 保健センター	67
21 体育館	69
22 その他スポーツ施設	72
23 図書館	76
24 劇場・ホール	78
25 博物館等	80
26 観光施設（自然体験型）	84
27 観光施設（施設型）	86
28 宿泊・研修施設	88
29 産業振興施設	90
30 公営住宅	92
31 教職員住宅	96
32 消防庁舎	98
33 ごみ・し尿処理施設（管理庁舎等）	100
34 その他の施設	102
① 斎場	102
② 公営駐車場等	102
③ 貸付、未利用、その他施設	104

目次

第4章 地域別の取組施設

1 地域別の取組施設一覧	115
--------------------	-----

第5章 機能廃止した建築物の有効活用と処分

1 機能廃止した建築物に関する基本的な考え方	119
2 サウンディング型市場調査の活用	120
3 公共施設等適正管理推進事業債を活用した計画的な除却 ..	121

第6章 民間企業と連携した取組

1 基本的な考え方	122
2 具体的な取組	123

第7章 計画策定後の流れ

1 本計画期間中の具体的な進め方	124
2 進捗管理	124
3 長岡市公共建築物長寿命化計画との連携について	124

<u>用語集（五十音順）</u>	125
------------------------	-----

第1章 計画策定の背景

1 計画の策定に当たって

本市が保有する公共建築物は、合併前の各市町村が整備した公共施設等を引き継いだこともあり、人口や産業構造が類似する他の地方公共団体（類似団体）と比較して、保有面積が多い状況にあります。経年により施設の老朽化が進行することで、大規模改修や建替えが必要となる時期を迎え、多額の更新費用が必要になることが見込まれます。そのため、市の将来を担う次の世代の負担とならないよう、施設の総量の抑制・削減と適正な管理運営に取り組んでいく必要があります。

このため、本市では、令和2年度に「長岡市公共建築物適正化計画」を策定し、施設の老朽化と更新費用の増大、人口減少や少子高齢化の進行、特に生産年齢人口の減少に伴う税収の減少などが見込まれる中、「全ての施設をこれまでと同じように維持していくことは困難」との認識のもと、機能の縮小・廃止等、民営化の推進・民間サービス等の活用、集約による効率的・効果的なサービスの提供、施設の管理運営方法の適正化、の4つの取組を進めました。

計画の最終年度を迎え、4年目までの取組を総括すると、予定した件数を上回る取組を実施し、効果額も見込みを上回る成果を挙げたものの、近年の急激な物価・人件費等の上昇や、予測を上回る人口減少などの影響により、市民一人当たりの管理運営経費は当初見込んだ令和7年度の金額を超える見通しとなっています。また、令和7年3月31日時点での公共建築物の面積は約134万㎡で、5年前の面積から約9千㎡（約0.7%）増加し、総量の削減も進んでいない状況です。また、計画期間中の前半は新型コロナウイルス禍に直面し公共施設の利用者が減少したほか、平時に戻った現在でも、市民ニーズの変化も相まって利用者数が低迷している施設が見受けられます。

このように、第1期計画では、予定の取組を実施できたものの、人口減少の加速化、物価・人件費の急激な上昇、市民ニーズの変化と利用者の減少が顕在化し、人口一人当たりの管理運営経費の増加と公共建築物面積の高止まりという課題を抱えたままとなっており、改めて「全ての施設をこれまでと同じように維持していくことは非常に困難」との認識を強くしています。

一方、近年、公共建築物の活用においては、サウディング型市場調査の実施、ネーミングライツ（公共施設命名権）の導入、包括管理委託の導入など、民間事業者と連携することにより公共建築物を積極的に活用し、収入と利用者の増加を図る取組が全国的に増えております。

これらの状況を踏まえ、第1期計画の内容に新たな視点と取組を加え、第2期計画を策定することとしました。

2 第1期計画の総括と現状の課題

(1) 第1期計画の取組状況（令和3～6年度末時点）

第1期計画の取組による効果額（3.2億円）は、見込み額（3.1億円）を1年前倒しで達成しました。

一方で、市民一人当たりの管理運営経費は、物価・人件費等の上昇や計画当初に見込んだ予測を上回る人口減少などの影響により、令和7年度見込額を超える見通しとなっています。

図1-1 第1期計画の主な取組状況

取組の種類		計画	R3-R6実績		主な対象施設
		件数	件数	効果額(千円)	
施設、機能の廃止	施設、機能の廃止	49	36	222,916	東サービスセンター、西藏王団地
	解体	1	14	98,954	勤労会館、栃尾市民会館
	譲渡・売却	4	5	982	放置自転車保管庫
	入浴サービスの廃止	11	10	19,028	高齢者センター
	学校プールの廃止	0	10	770	柿小学校、南中学校
民営化の推進、民間サービス等の活用		4	3	▲48,163	中之島保育園、こしじ保育園、ホテルサンローラ
集約による効率的、効果的なサービスの提供		12	8	29,084	みしま北保育園、上塩小学校
計		81	86	323,571	

図1-2 計画策定時見込と現状の比較

	R 7 目標	実績
取組による効果額	3.1億円	(R3-R6) 約3.2億円
市民一人当たりの管理運営費	26,059円	(R5) 27,772円

(2) 市が保有する公共建築物

ア 公共建築物の保有状況

令和7年3月31日時点で、市が保有する公共建築物は1,694施設あり、総延床面積は1,338,940㎡となっています。

第1期公共建築物適正化計画策定の前年度（令和2年3月31日時点）と比べ、施設数は1,681施設から13施設増加し、延床面積は1,330,097㎡から約9千㎡増加しました。

図1－3 市有建築物数と延床面積

施設分類	施設数	延床面積（㎡）	割合（％）
庁舎	21	99,398	7.4
コミュニティ施設	113	94,396	7.1
学校施設	90	511,512	38.2
保育園・認定こども園	32	28,750	2.1
保健福祉施設	124	50,705	3.8
スポーツ施設	56	72,323	5.4
文化施設	47	56,961	4.3
観光・レクリエーション施設	33	29,565	2.2
産業振興施設	9	9,080	0.7
住宅（公営住宅等）	59	136,112	10.2
消防施設	301	23,031	1.7
ごみ・し尿処理施設 （管理庁舎等）	15	43,655	3.3
その他（上下水道、公園等）	794	183,452	13.7
合計	1,694	1,338,940	100

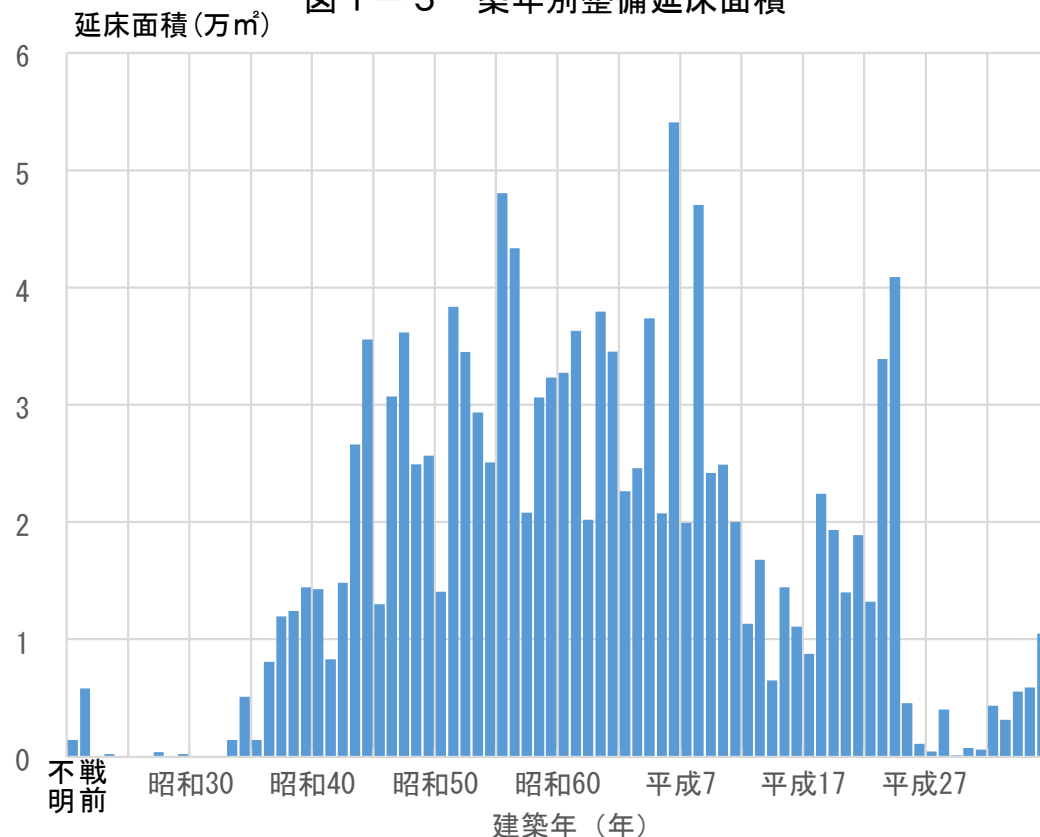
図1－4 地域別の市有建築物数と延床面積

地域	施設数	延床面積（㎡）	割合（％）
長岡	696	757,176	56.6
中之島	117	64,728	4.8
越路	101	59,184	4.4
三島	65	44,611	3.3
山古志	88	30,513	2.3
小国	100	52,660	3.9
和島	57	29,302	2.2
寺泊	105	60,169	4.5
栃尾	188	140,282	10.5
与板	44	32,483	2.4
川口	133	67,833	5.1
合計	1,694	1,338,940	100

イ 築年別の整備状況

本市の公共建築物は、昭和50年代前半（1975年頃）から平成初期（2000年頃）にかけて多く整備されており、築40年以上の施設が約48%を占めています。老朽化が進む中で大規模な改修の需要が増加しており、今後もこの傾向が続くと見込まれます。

図 1－5 築年別整備延床面積



(3) 地域別人口の推移

平成27年10月1日時点と令和7年10月1日時点の人口を比較すると11地域全てで減少しており、市全体では10年間で約9%減少しています。また、この傾向は今後も続くものと考えられます。

図 1－6 地域別人口の推移

	人口（人）			増減率	
	平成27年	令和7年	令和17年 (推計)	平成27年 ～令和7年	令和7年 ～令和17年
長岡市全体	277,069	252,926	233,826	▲9%	▲8%
長岡地域	192,075	183,941	—	▲4%	—
中之島地域	11,872	10,362	—	▲13%	—
越路地域	14,180	12,560	—	▲11%	—
三島地域	7,018	6,158	—	▲12%	—
山古志地域	1,095	705	—	▲36%	—
小国地域	5,655	4,035	—	▲29%	—
和島地域	4,297	3,375	—	▲21%	—
寺泊地域	10,054	7,854	—	▲22%	—
栃尾地域	19,493	14,583	—	▲25%	—
与板地域	6,656	5,687	—	▲15%	—
川口地域	4,674	3,666	—	▲22%	—

※出典：（実績）長岡市住民基本台帳 各年10月1日
（推計）国立社会保障・人口問題研究所
「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

(4) 公共建築物の抱える課題

ア 人口構造と市民ニーズの変化

本市の人口は、平成7（1995）年の29.3万人をピークに減少に転じ、その後は減少が続いています。国立社会保障・人口問題研究所の調査結果によると、今後も人口の減少は続き、令和32（2050）年には、総人口が約19.7万人になると見込まれています。また、年少人口及び生産年齢人口が減少する一方、老年人口は増加が続く見込みです。

このような人口構造の変化に加え、社会情勢や価値観の多様化等により、市民ニーズも変化を続けています。これらの変化は、全体的な施設利用需要の変動と、施設の維持管理・運営コストの増大という側面を伴い、施設総量の見直しや施設のあり方に関する検討の必要性をより一層高めています。

イ 施設総量の課題

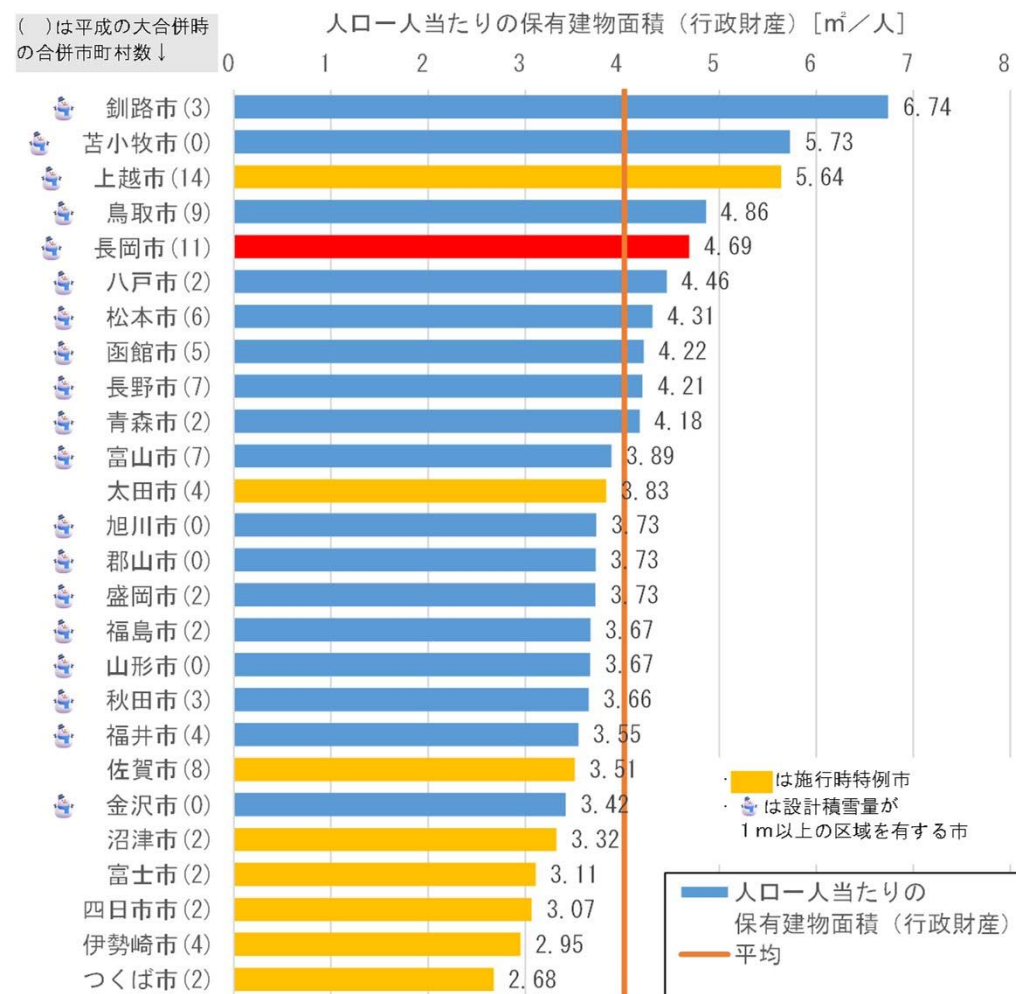
本市が保有する公共建築物は、人口一人当たりの延べ床面積が類似団体と比較して大きな値となっています。

少子高齢化の進展や人口減少が見込まれる中で、本市の規模や将来の人口構成に見合った公共建築物のあり方を検討し、その適正化を進めていくことが喫緊の課題となっています。公共サービスの水準維持と財政負担の軽減を両立させるため、施設総量の最適化に向けた取り組みが不可欠です。

ウ 公共建築物の老朽化と費用の増大

老朽化した施設は、安全性や機能性の低下を招くだけでなく、維持管理や修繕・改修にかかる費用が増大する傾向にあります。また、大規模改修や建替えの時期が集中することで、多額の財政負担が生じることが懸念されます。そのため、老朽化する施設の増加は、限りある財源の中で、持続可能な公共サービスを提供していくための大きな課題であり、施設の統廃合、複合化、長寿命化等といった多角的な視点からの戦略的な対応が求められています。

図1-7 人口一人当たりの保有建物面積（行政財産）



第2章 計画の基本的な考え方

1 計画の位置付け

(1) 計画の目的

本計画は、長岡市公共施設等総合管理計画※（平成29年3月策定）で示した「中長期的な管理に関する基本的な方針」と、持続可能な行財政運営プランが示す「人口減少などに対応した公共施設の適正管理」を踏まえ、公共建築物の総量の抑制・削減と適正な管理運営を進めることを目的とします。

※ インフラ長寿命化基本計画（平成25年11月、国土交通省策定）」及び「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について（平成26年4月22日、総務大臣通知）」に基づく行動計画であり、個別施設毎の具体の対応方針を定める計画（本計画）の策定も求められています。

(2) 計画の期間

上位計画である長岡市公共施設等総合管理計画は、計画期間を30年間としていますが、本計画の計画期間は、市有施設の適正化を具体的に推進する観点から、令和8（2026）年度から令和12（2030）年度までの5年間とします。

また、本計画は、社会環境や利用状況の推移などに応じて、見直す必要があることから、PDCAサイクルの考え方に沿って、毎年進捗管理を行います。

(3) 計画の対象範囲

本計画は、本市が保有する施設のうち717施設、延床面積約120万㎡を対象とします。
以下の施設については、それぞれの特性や管理体系を考慮し、本計画の対象外とします。

ア インフラ（上下水道等）施設に付随する建築物

これらの建築物は、それぞれのインフラ機能と一体的に管理・運用されており、所管部局におけるインフラ全体の長寿命化計画や維持管理計画の中でその適正化が図られているため、本計画の対象外とします。

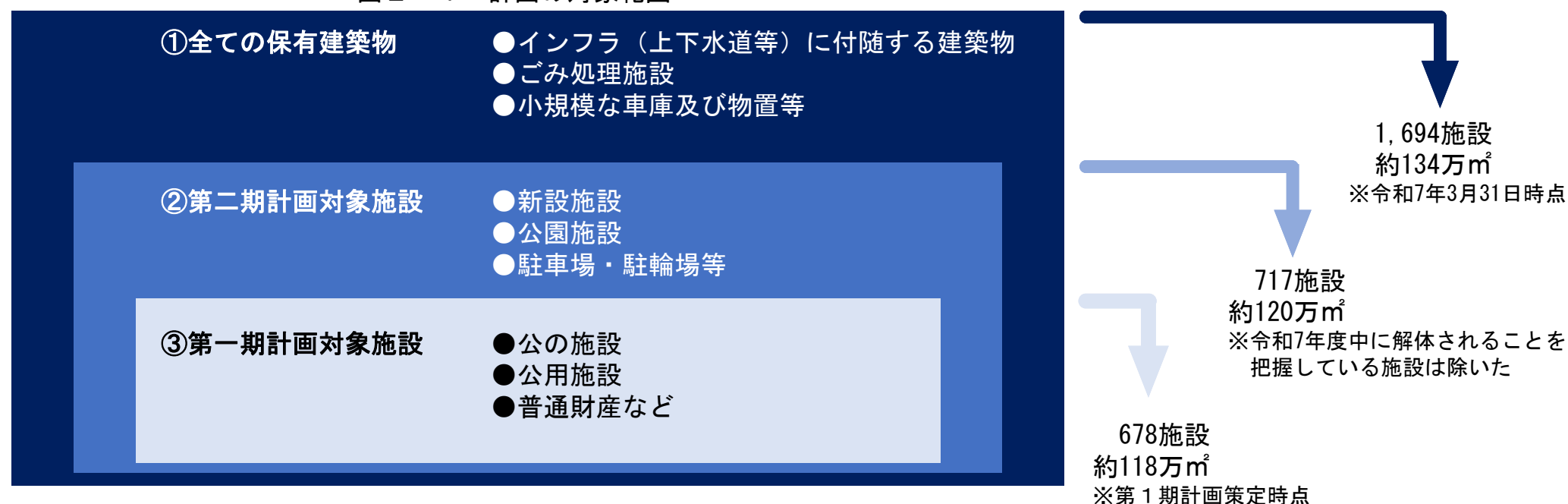
イ ごみ処理施設

ごみ処理施設は、その特殊な機能性や高度な技術設備を伴う特性から、所管部局で計画的に施設更新が図られているため、本計画の対象外とします。

ウ 小規模な車庫及び物置等

小規模な車庫及び物置等については、その維持管理に要する費用や更新投資が比較的小さく、本計画全体の適正化効果への寄与が限定的であることから、対象外とします。

図 2－1 計画の対象範囲



(4) 施設の分類

第1期計画と同様に、公共施設総合管理計画の分類に合わせ、717の施設を34の施設分類に分け、分類に応じた現状や課題を整理し、今後の方針を検討します。

図2-2 適正化計画対象施設の分類と主な施設

No	施設分類（大分類）	施設分類（小分類）	施設数	主な施設
1	庁舎	本庁舎	1	アオーレ長岡
2		分庁舎・窓口	8	大手通庁舎 ほか
3		支所庁舎	10	中之島支所 ほか
4	コミュニティ施設	コミュニティセンター・公民館等	96	阪之上コミュニティセンター ほか
5		その他の集会施設	15	栃尾地域交流拠点施設 ほか
6	学校施設	小学校・中学校	79	阪之上小学校 ほか
7		総合支援学校・高等総合支援学校	2	総合支援学校、高等総合支援学校
8		給食共同調理場	7	上組学校給食共同調理場 ほか
9		教育センター	1	教育センター
10		子ども・青少年相談センター	1	子ども・青少年相談センター
11	保育園・認定こども園	保育園・認定こども園	31	南部保育園 ほか
12	保健福祉施設	児童会館・児童クラブ	65	四郎丸児童会館 ほか
13		子育ての駅	13	子育ての駅千秋 ほか
14		児童養護施設	1	双葉寮
15		児童発達支援センター	1	柿が丘学園
16		高齢者福祉施設（デイサービス事業を除く。）	18	高齢者センターけさじろ ほか
17		デイサービスセンター	9	デイサービスセンターけさじろ ほか
18		障害者福祉施設	2	たんぽぽ ほか
19		診療所	8	山古志診療所 ほか
20		保健センター	5	健康センター ほか
21	スポーツ施設	体育館	22	市民体育館 ほか
22		その他スポーツ施設	30	悠久山野球場 ほか
23	文化施設	図書館	8	中央図書館 ほか
24		劇場・ホール	4	市立劇場 ほか
25		博物館等	35	科学博物館 ほか
26	観光レクリエーション施設	観光施設（自然体験型）	15	和島オートキャンプ場 ほか
27		観光施設（施設型）	15	道の駅ながおか花火館 ほか
28		宿泊・研修施設	2	青少年研修センター、川口体験交流センター
29	産業振興施設	産業振興施設	7	新産業創造センター ほか
30	住宅（公営住宅等）	公営住宅	53	上除団地 ほか
31		教職員住宅	5	越路飯塚教職員住宅 ほか
32	消防施設	消防庁舎	13	消防本部庁舎 ほか
33	ごみ・し尿処理施設	ごみ・し尿処理施設（管理庁舎等）	2	エコトピア寿、環境衛生センター
34	その他の施設	その他の施設	133	長岡市斎場 ほか
合 計			717	

2 計画策定に当たっての基本的な考え方

(1) 基本方針

本市は、市民一人あたりの公共建築物の面積が平均よりも多く、施設の老朽化が進行することで、大規模改修や建替えが必要となる更新時期を迎えています。想定を上回る人口減少、物価や賃金水準の高騰に伴う管理運営費の増加、市民ニーズの変化と公共施設の利用者の減少などにより、管理運営費の増加と公共建築物面積の高止まりという課題を抱えており、「全ての施設をこれまでと同じように維持していくことは困難」であり、公共施設の見直しが不可欠です。

施設の規模や配置の見直しにおいては、次ページの「(2) 見直しの視点」をもとに、市民の公共施設へのニーズの変化に対応し、施設の老朽化の状況と利用者数の推移等を踏まえ、求められる機能とサービスを見極めていきます。

施設の規模や配置の見直しの取組は、

1 公共建築物の総量の抑制と削減

・縮小、廃止、転用 ・統廃合・複合化・集約化 など

を実施していきますが、すぐにこれらの取組を行うことはできないものの、課題があり施設の今後のあり方を検討していく必要がある施設は、新たに

・あり方の検討

に位置付け、課題があることを明示し、利用者や市民の皆さんと今後のあり方を検討していきます。検討の材料となる施設の利用状況等のデータについては、わかりやすく公開していきます。

また、取組を、計画策定時にとどまらず継続的に行うため

2 計画的な施設の更新、整備や施設運営の最適化を図る仕組みづくり

を行い、長寿命化工事の実施や、支所地域における施設整備等に関する庁内の検討体制の強化を図ります。

さらに、効率的な施設運営と収入の増加を目指し、民間事業者等との連携による

3 管理・運営方法の最適化

4 民間との連携、民間サービス等の活用

に取り組むほか、新たに、ネーミングライツの導入や広告の設置などの

5 保有財産の有効活用

にも取り組み、公共建築物を積極的に活用していきます。

施設の廃止や縮小をネガティブにとらえるのではなく、その中で機能や活動を充実させる「縮充」の考え方で取り組みます。

以上の基本方針に加え、施設の目的や性質ごとに特有の課題もあるため、34の施設分類ごとに今後の方針も策定します。

(2) 見直しの視点

基本方針及び施設分類ごとの方針に基づき、一つひとつの施設について見直しの必要性を検討します。検討に当たっては、客観的な数値などを根拠に、多角的な視点から総合的に検討します。

【見直しの対象として検討する施設（例）】

老朽化した施設	建築築50年超で長寿命化工事未実施の施設など
安全面で問題のある施設	耐震化未対応の施設など
利用者数が減少している施設	H27→R元→R6と2期間連続で大きく減少している施設など
利用が特定の者に固定されている施設	一部の固定客しか使用していない施設など
県、近隣市町村、民間で代用できる施設	同様のサービスを民間などで提供できる施設など
利用圏域が重複している施設	同様の役割を果たす施設が、同一の地域の中に存在している施設など

【検討時に配慮が必要な施設（例）】

地域コミュニティの維持に必要な施設	地域の活動や防災等の観点から地域住民にとって必要な施設など
-------------------	-------------------------------

■ 検討に使用するデータ（例）

- ・ 管理運営費
- ・ 利用者一人当たり管理運営費
- ・ 使用料等歳入の状況
- ・ 利用者数の推移、見込み
- ・ 建築からの年数
- ・ 施設の稼働率
- ・ 補助金等の処分制限残存期間、額
- ・ 同一地域内、近隣の公共施設の状況、類似民間施設の状況

(3) 取組内容

基本方針及び施設分類ごとの方針に基づき、各施設の状況に応じ次の取組を実施します。

取組の種類		取組内容	
1	公共建築物の総量の抑制と削減	1 廃止・縮小・転用	利用率が低い施設や役割を終えた施設等を廃止、縮小又は他用途へ転用します。
		2 統廃合・複合化・集約化	同じ機能を持つ複数の施設を統廃合・集約化、又は複数の機能を一つの施設に複合化し、効率的・効果的なサービスの提供を図ります。
		3 存続・廃止条件の設定	利用状況や安全性確保の観点などから、施設の存続・停止・廃止のための条件を設定します。
		4 あり方の検討	社会情勢や市民ニーズの変化に伴う課題を抱える施設について、維持・継続を含めて今後の方向性やあり方を検討します。
		5 売却・譲渡	一定の役割を終え、市として利用目的のない施設を民間等に売却・譲渡します。
		6 除却	老朽化し、安全性に問題がある施設等を解体・撤去し、将来的なリスクや維持費の増加を回避します。
2	計画的な施設の更新、整備や施設運営の最適化を図る仕組みづくり	1 建築物の新設・更新の要件設定、長寿命化・最適化を検討する体制の整備	施設の新設・更新を行うための要件を明確にし、施設の適正化と長寿命化、運営の最適化を検討するための体制を整備します。 次年度の工事案件について、施設所管課、営繕担当課及び財産マネジメント課が協議する仕組みを強化し、公共建築物の適正化と長寿命化を進めます。 支所地域における施設の整備等については、施設所管課、支所長及び地域振興戦略部、財産マネジメント課などの関係課で協議する仕組みを整え、施設の適正化や運営の最適化を図ります。
3	管理・運営方法の最適化	1 開館日・開館時間の見直し	利用状況に応じて開館日や開館時間を見直します。
		2 管理水準の見直し	利用状況や施設の状況に応じて清掃、警備、設備点検などの管理水準を見直します。
		3 施設使用料の見直し	受益者負担の原則に基づき、適正な料金水準に見直します。
4	民間との連携、民間サービス等の活用	1 包括管理委託の推進	複数施設の管理業務を一括して民間専門業者に委託し、効率的・効果的な施設管理を行います。
		2 民間委託の推進	業務の一部を民間事業者へ委託し、専門性の活用と効率化を図ります。
		3 PFIの推進	民間資金を導入し、施設整備と収益事業を一体的に実施します。
		4 サウンディング型市場調査の実施	民間事業者等の意見を聴取し、事業化の可能性や実施条件を検討します。
5	保有財産の有効活用	1 ネーミングライツの導入	施設の愛称に企業名を冠することで、施設の魅力向上と財源の確保を図ります。
		2 広告設置の推進	館内や敷地内に広告スペースを設置し、財源の確保を図ります。
		3 民間貸付の推進	未利用施設や余剰スペースを民間事業者へ貸し出し、財源の確保を図ります。

【取組実施（見直し対象）施設数】

取組対象施設 (見直し対象施設)	当面機能を維持する施設 (機能を維持しながら利用、引き続き、更に見直す点がないか検討する施設)
278施設 (38.8%)	439施設 (61.2%)

【取組（見直し）件数】 ※複数の取組を実施する施設有

取組の種類（件数）			取組内容（件数）	
1	公共建築物の総量の抑制と削減	216	1 廃止・縮小・転用	31
			2 統廃合・複合化・集約化	14
			3 存続・廃止条件の設定	3
			4 あり方の検討	99
			5 売却・譲渡	39
			6 除却	30
2	計画的な施設の更新、整備や施設運営の最適化を図る仕組みづくり	—	1 建築物の新設・更新の要件設定、長寿命化・最適化を検討する体制の整備	—
3	管理・運営方法の最適化	81	1 開館日・開館時間の見直し	49
			2 管理水準の見直し	16
			3 施設使用料の見直し	—
			4 その他の検討・取組	16
4	民間との連携、民間サービス等の活用	4	1 包括管理委託の推進	—
			2 民間委託の推進	—
			3 P F I の推進	4
			4 サウンディング型市場調査の実施	—
5	保有財産の有効活用	6	1 ネーミングライツの導入	5
			2 広告設置の推進	1
			3 民間貸付の推進	—

(4) 取組による効果見込み

5つの取組の種類に位置付けられた各取組の効果は、1 公共建築物の総量の抑制と削減では、まず延床面積の削減に現れるほか、総量の削減に加え、3 管理・運営方法の最適化、4 民間との連携、民間サービス等の活用の取組により、管理運営費の削減に現れます。また、5 保有財産の有効活用の取組は、収入の増加に貢献します。

そこで、管理運営費の評価は、第1期計画では歳出のみでしたが、管理運営の実態をより正確に把握するため、（歳出－歳入）で行います。これにより、受益者負担の適正性や、歳入増に向けた取組の実施状況などがより明確になり、管理運営費（歳出）の抑制と財源（歳入）を増やす取組を評価することが可能となります。

第2期計画では、前ページの取組により、対象施設全体で令和12年度には対象施設全体の管理運営費約3.3億円、延床面積約3.7万㎡の削減を見込んでいます。

区分	R 6 年度 実績値 ①	R 7 年度 効果見込み ②	第二期計画期間 (R 8 ～12年度) 効果見込み ③	取組による 削減割合 ③÷(①－②)
管理運営費（歳出－歳入）	51.1億円	0.5億円	3.3億円	6.5%
延床面積	121.2万㎡	1.7万㎡	3.7万㎡	3.1%

なお、本効果額以外に、人口減少に加え、昨今の物価高騰の影響により、エネルギーコストや資材価格の上昇などから、施設の管理運営費が今後更に増加する可能性が懸念されています。こうした状況を踏まえ、現在盛り込んでいる取組に加え、今後も継続的に取組の検討・実施を進めることで、更なる効果の創出を目指します。

(5) 指標の設定

取組の達成度を評価するための具体的な数値として、指標を設定します。設定する指標は、人口減少が進む中であっても、市民一人当たりの管理運営費及び延床面積の増加を抑制するという観点に基づき、次の2つを設定します。

指標	R 6 年度実績値	
① 市民1人当たりの管理運営費 (光熱水費などの歳出から使用料などの歳入を引いた額)	20,033円	(歳出 23,422円)
		(歳入 3,389円)
② 市民1人当たり延床面積	4.8m ²	

設定した指標については、令和6年度の実績値を上限とし、各種取組を通じてこの実績値を超えないことを目標とします。これにより、将来にわたり市民1人当たりの財政的負担が増加しないよう公共建築物の適正化を推進します。

「市民1人当たりの管理運営費は、本市の対象施設全体を対象としたものですが、管理運営費の抑制を個別の施設で確実に推進するという観点から、施設利用者一人あたりの管理運営費にも着目していきます。

【参考】

第1期計画における市民一人当たりの管理運営費は（歳出のみ）で算出していました。第2期計画とは対象施設が異なるので、あくまで参考値となりますが、第2期計画においても算出します。

第3章 各施設分類の現状と課題、今後の方針

1 本庁舎

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：1施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」P.18のとおり

現状と課題	本庁舎は、アリーナや市民活動のスペースと一体となった複合施設として、長岡地域中心部に立地しています。 平成24年4月に開設し、各種設備が老朽化による更新時期を迎えるため、今後数年間は、これに伴う多額の費用が必要となります。 また、管理運営経費の見直しが課題です。
今後の方針	本庁舎は、複合施設として、今後も機能を維持します。 設備の更新については、中長期修繕計画に基づき、費用の平準化を図ります。 また、管理運営経費を削減するため、清掃や警備などの管理水準の見直しを行うほか、広告設置事業の導入による収益化を図ります。
取組内容	ア 中長期修繕計画に基づく設備更新費用の平準化 イ 清掃や警備などの管理水準の見直し ウ 広告設置事業の導入による収益化

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館 日」 傾 向	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度					施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	長岡市役所本庁舎 (アオーレ長岡)	2012	35,498	有り	239,167	223,469	201,586	↓	314	642	2,594	維持	設備の更新については、中長期修繕計画に基づき、費用の平準化を図ります。また、管理運営経費を削減するため、清掃や警備などの管理水準の見直しを行うほか、広告設置事業の導入による収益化を図ります。	R9	利用者一人当たり維持管理費の一部に「アオーレ長岡（コミュニティ施設分）」を含む。

2 分庁舎・窓口

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：8施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 20のとおり

現状と課題	分庁舎・窓口は、一部が商業施設に立地するなど利便性が高い一方で、人口減少やコンビニエンスストアでの証明書発行サービスが始まったことなどにより利用者数が減少し、今後もこの傾向が続くことが見込まれます。 第1期計画では、利用状況を踏まえ、幸町証明発行コーナー及び東サービスセンターを廃止したほか、老朽化に対応するため、ながおか市民センターの機能の周辺庁舎等への移転を進めています。
今後の方針	分庁舎・窓口は、原則として、今後も機能を維持します。ただし、利用者数や建物の老朽化に応じて、同一地域のお施設への集約化・複合化を引き続き検討します。 また、管理運営経費を削減するため、業務内容の見直しを行います。
取組内容	ア 他施設へ機能移転する施設 ながおか市民センター イ 今後のあり方を検討する施設 太田コミュニティセンターサービスコーナー ウ 開館日・開館時間を見直す施設 さいわいプラザ エ 管理・運営体制を見直す施設 大手通庁舎

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	さいわいプラザ	1977	20,240	有り (補強)	386,635	417,249	319,386	↘	364	877	583	維持	休館日を新設することにより、施設管理費の削減を図ります。	R9～	
長岡	大手通庁舎	2011	3,920	有り	24,887	21,624	15,970	↘	243	66	2,880	維持	複数課に跨る維持管理業務を一括で行うことにより、事務の効率化を図ります。	R8	
長岡	ながおか市民センター	1963	9,522	有り (補強)	132,860	98,673	23,804	↘	359	66	3,969	移転 (廃止)	施設の老朽化に伴い、周辺施設に機能を移転します。	R8	
長岡	撰田屋分室	1997	2,147	有り	-	-	-	-	244	0	-	維持			
長岡	西サービスセンター	2006	110		43,482	38,542	29,119	↘	313	93	66	維持			
長岡	青葉台コミュニティセンターサービスコーナー	1985	-		2,942	2,158	1,254	↘	242	5	0	維持			延床面積は「青葉台コミュニティセンター」に含む。
長岡	太田コミュニティセンターサービスコーナー	1981	-		84	49	19	↘	242	0	0	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	延床面積は「太田コミュニティセンター」に含む。
長岡	東サービスセンター	2010	-		43,336	29,870	13,139	↘	239	55	232	-	-	-	令和6年度廃止
寺泊	寺泊コミュニティセンターサービスコーナー	1997	-		2,835	1,450	524	↘	242	2	0	維持			延床面積は「寺泊コミュニティセンター」に含む。

3 支所庁舎

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：10施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 22のとおり

現状と課題	支所庁舎は、建物の老朽化や耐震基準を満たしていないなどの課題を有している一方、利用されていないスペースや倉庫となっている場所もあります。 第1期計画では、老朽化した栃尾支所を旧栃尾文化センターを改修した新庁舎へ移転したほか、与板支所の地域交流拠点施設内への複合化を行い、川口支所について、整備中の地域交流拠点施設内への複合化を進めています。
今後の方針	支所庁舎は、今後の地域づくりと行政機能の配置の検討を踏まえたうえで、現在、老朽化等の課題を抱える施設について、既存施設を活用した複合化を検討します。 また、管理運営経費を削減するため、警備や保守点検などの管理水準の見直しを行うなど管理運営方法の最適化を図ります。
取組内容	ア 継続利用しながら、「今後の方針」を踏まえ、必要に応じて見直す イ 他施設への複合化を進め、除却する ウ 今後のあり方を検討する エ 管理水準を見直す オ 周辺施設との一括管理による効率化を図る

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
中之島	中之島支所	1968	2,572	有り	12,552	12,961	6,644	↓	242	27	1,658	あり方の検討	現状維持または他施設への機能移転・複合化を検討します。 また、巡回警備等管理水準の見直しを行います。	R8～	
越路	越路支所	1987	4,658	有り	16,312	12,479	10,580	↓	245	43	2,799	維持	巡回警備や保守点検等管理水準の見直しを行う。	R8～	
三島	三島支所	1989	2,908	有り	8,702	6,327	4,949	↓	243	20	2,414	維持	巡回警備や保守点検等管理水準の見直しを行います。 また、周辺施設の一括管理を行います。	R8～	
山古志	山古志支所	1984	2,127	有り	1,260	934	589	↓	243	2	16,470	あり方の検討	現状維持または他施設への機能移転・複合化を検討します。 また、巡回警備等管理水準の見直しを行います。	R8～	
小国	小国支所	1982	3,311	有り	5,953	4,656	2,470	↓	242	10	5,760	あり方の検討	現状維持または他施設への機能移転・複合化を検討します。 また、巡回警備等管理水準の見直しを行います。	R8～	
和島	和島支所	1994	3,091	有り	5,081	3,844	2,464	↓	243	10	5,919	維持	巡回警備や保守点検等管理水準の見直しを行います。 また、周辺施設の一括管理を行います。	R8～	
寺泊	寺泊支所	1980	3,086	有り (補強)	5,626	5,839	5,163	↓	243	21	3,075	維持	巡回警備や保守点検等管理水準の見直しを行います。 また、周辺施設の一括管理を行います。	R8～	
栃尾	栃尾支所	1983	3,657	有り	－	－	7,875	－	243	32	2,234	維持	巡回警備や保守点検等管理水準の見直しを行います。	R8～	
与板	与板支所	1974	－		－	－	5,910	－	244	24	795	維持	巡回警備等管理水準の見直しを行います。	R8～	与板保健センターを臨時庁舎として使用、令和8年1月与板地域交流拠点施設へ複合化（移転）。
川口	川口支所	1979	2,552	なし	4,772	3,747	2,388	↓	243	10	3,580	複合化 (除却)	巡回警備等管理水準の見直しを行います。 川口地域交流拠点施設（仮称）へ複合化（移転）し、令和10年度に現川口支所庁舎の除却を行います。	R8～	

4 コミュニティセンター・公民館等

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：96施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 24～P. 29のとおり

現状と課題	本市では、地域における児童等の健全育成や社会福祉の増進などの役割を果たす地域の拠点として、コミュニティセンターを設置しています。一方、ライフスタイルの変化や、市民ニーズの多様化などにより、公民館を取り巻く環境は変化しています。 コミュニティセンター・公民館等については、人口減少に伴う利用者の減少や、同じ集会機能を果たす施設の複数立地などの課題を有していますが、その存廃は地域コミュニティに多大な影響を与えることになります。 第1期計画では、コミュニティセンターが設置された中之島、山古志、栃尾及び川口地域において、地区公民館・分館を廃止し、コミュニティセンター等への移行又は施設の廃止を行いました。 また、よいたコミュニティセンター及び川口コミュニティセンターについて、整備中の各地域交流拠点施設内への複合化を進めています。
今後の方針	・コミュニティセンター・公民館等は、原則として、今後も機能を維持します。なお、コミュニティセンターが設置された地域においては、地区公民館・分館を廃止します。 ・地域交流拠点施設を整備中の地域においては、同施設への複合化を進めます。 ・利用者数及び人口減少を鑑み、地区での維持が難しい施設の集約化等を図ります。
取組内容	ア 他施設へ複合化し、旧施設を廃止する施設 よいたコミュニティセンター（複合化後、旧施設は除却）、川口コミュニティセンター（現施設を改修、複合化） イ 他施設へ集約化し、旧施設を廃止する施設 大形会館 ウ 用途を変更する施設 上川西コミュニティセンター分室 エ 規模を縮小する施設 阪之上コミュニティセンター オ 今後のあり方を検討する施設 太田コミュニティセンター、中央公民館、越路公民館、越路公民館十楽寺分館、中之島コミュニティセンター中通分室、種芋原地区センター、法末集落管理センター、寺泊山ノ脇センター、荷頃地区センター、上塩谷地区センター、西中野俣地区センター、中地区センター、半蔵金地区センター、来伝地区センター、荒谷集会所、川岸集会所、相川三生活改善センター、大島集会所、竹田集落センター、中山生活改善センター、中新田集落開発センター、八郎場集落開発センター

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	千手コミュニティセンター	1988	3,617	有り	34,348	39,641	36,266	→	357	102	322	維持			
長岡	四郎丸コミュニティセンター	1995	1,084	有り	28,940	23,780	20,415	↓	357	57	156	維持			
長岡	豊田コミュニティセンター	1991	640	有り	20,705	16,956	13,462	↓	357	38	241	維持			
長岡	阪之上コミュニティセンター	1960	962		30,139	28,690	14,123	↓	357	40	483	規模縮小	利用状況等を踏まえ、施設規模を縮小します。	R11	
長岡	表町コミュニティセンター	1993	639		10,284	8,434	8,461	→	357	24	295	維持			
長岡	中島コミュニティセンター	1990	791	有り	12,133	10,899	8,624	↓	357	24	217	維持			
長岡	神田コミュニティセンター	1994	992	有り	22,450	21,925	18,291	↓	357	51	174	維持			
長岡	川崎コミュニティセンター	1988	1,123	有り	29,568	20,483	15,986	↓	357	45	140	維持			
長岡	川崎コミュニティセンター分館	1999	996	有り	19,189	16,020	11,293	↓	357	32	241	維持			
長岡	新町コミュニティセンター	1992	888	有り	24,495	14,580	14,384	↓	357	40	184	維持			
長岡	新町コミュニティセンター分室福祉センター	1997	243	有り	不明	3,416	2,974	－	357	8	426	維持			
長岡	大島コミュニティセンター	1988	1,103	有り	29,691	28,502	26,068	↓	357	73	107	維持			
長岡	希望が丘コミュニティセンター	1986	1,484	有り	45,759	22,079	17,447	↓	357	49	187	維持			
長岡	宮内コミュニティセンター	1989	887	有り	42,113	39,328	22,134	↓	357	62	104	維持			
長岡	宮内コミュニティセンター分館	1996	611	有り	23,147	21,303	13,130	↓	357	37	250	維持			
長岡	十日町コミュニティセンター	1990	726	有り	11,568	10,063	8,774	↓	357	25	203	維持			
長岡	六日市コミュニティセンター	1992	934	有り	8,501	6,195	3,390	↓	357	9	570	維持			
長岡	太田コミュニティセンター	1981	758		1,918	1,275	1,186	↓	357	3	1,863	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
長岡	山通コミュニティセンター	2001	1,133	有り	13,446	10,564	11,602	→	357	32	224	維持			
長岡	栖吉コミュニティセンター	2013	1,269	有り	32,882	28,575	27,203	↓	357	76	175	維持			
長岡	栖吉コミュニティセンター分室活性化センター	1995	454	有り	5,617	7,232	3,382	↓	357	9	294	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	富曽亀コミュニティセンター	1991	827	有り	18,021	17,328	15,628	↘	357	44	187	維持			
長岡	山本コミュニティセンター	1991	836	有り	7,523	8,121	5,221	↘	357	15	376	維持			
長岡	新組コミュニティセンター	1997	1,060	有り	9,270	9,748	6,653	↘	357	19	441	維持			
長岡	黒条コミュニティセンター	2005	1,567	有り	20,213	15,300	13,570	↘	357	38	415	維持			
長岡	下川西コミュニティセンター	1983	733	有り	8,430	6,096	5,580	↘	357	16	277	維持			
長岡	上川西コミュニティセンター	2020	991	有り	24,818	19,514	20,689	→	357	58	227	維持			
長岡	上川西コミュニティセンター分室	1986	856	有り	-	-	0	-	357	0	-	転用	利用状況に合わせて施設の用途を変更します。	R8	
長岡	福戸コミュニティセンター	1990	742	有り	6,962	7,097	5,546	↘	357	16	403	維持			
長岡	王寺川コミュニティセンター	1981	629	有り (補強)	7,809	4,981	4,741	↘	357	13	333	維持			
長岡	日越コミュニティセンター	2003	1,279	有り	20,418	16,470	15,451	↘	357	43	271	維持			
長岡	関原コミュニティセンター	2010	1,348	有り	18,549	23,926	15,171	↘	357	42	391	維持			
長岡	宮本コミュニティセンター	1998	997	有り	7,891	11,472	10,341	→	357	29	280	維持			
長岡	大積コミュニティセンター	1989	857	有り	4,464	6,022	8,021	↗	357	22	309	維持			
長岡	深才コミュニティセンター	2008	1,220	有り	15,729	13,035	14,037	→	357	39	283	維持			
長岡	青葉台コミュニティセンター	1985	774		18,385	19,202	15,387	↘	357	43	1,429	維持			
長岡	中央公民館	1977	-	有り (補強)	76,809	72,468	66,694	↘	343	194	▲12	あり方の検討	越路公民館等のコミュニティセンター移行の状況に合わせて、市民ニーズを踏まえて貸館機能を維持しながら、中央公民館のあり方を検討します。	R8～	延床面積は「さいわいプラザ」に含む。
中之島	中之島コミュニティセンター	1991	1,202	有り	20,281	28,515	19,200	↘	357	54	243	維持			
中之島	中之島コミュニティセンター上通分室	2022	675	有り	-	-	3,190	-	357	9	300	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
中之島	中之島コミュニティセンター上通分室（旧老人憩いの家はすはな荘）	2006	-	有り	15,587	12,360	1,719	↓	304	6	3,367	-	-	-	・令和7年度転用済。延床面積は、上段に含む。 ・各実績値は旧老人憩いの家はすはな荘の数値。
中之島	中之島コミュニティセンター中通分室	1979	523		1,510	1,440	285	↓	357	1	3,167	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
中之島	中之島コミュニティセンター中野分室	1990	170	有り	1,350	737	173	↓	357	0	1,078	維持			
中之島	中之島コミュニティセンター中条分室	1994	910	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
中之島	中之島コミュニティセンター信条分室	2024	191	有り	-	-	739	-	357	2	324	維持			
中之島	中之島コミュニティセンター西所分室	1993	372		962	1,213	30	↓	357	0	9,780	維持			
中之島	中之島コミュニティセンター三沼分室	1999	328	有り	1,253	1,270	323	↓	357	1	3,891	維持			
中之島	旧中之島公民館中之島第二分館	1985	402		7,660	7,210	-	-	-	-	-	-	-	-	令和6年解体済み
越路	越路公民館	1976	-	有り (補強)	-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	越路地域にコミュニティセンターを設立となった場合には、越路公民館及び分館の事業等のあり方を検討し、最終的にはコミュニティセンターに整理・統合し、越路公民館の機能を廃止します。	未定	・延床面積、利用者数は「越路総合福祉センター」に含む。
越路	越路公民館来迎寺元町分館	1985	-	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			・延床面積は「越路郷土資料館」に含む。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
越路	越路公民館十楽寺分館	1984	884	有り	10,972	6,629	4,223	↓	291	15	318	あり方の検討	越路地域にコミュニティセンターを設立するとなった場合には、越路公民館及び分館の事業等のあり方を検討し、最終的にはコミュニティセンターに整理・統合し、越路公民館十楽寺分館の機能を廃止します。	未定	
三島	みしまコミュニティセンター	2010 (支所に ミセンを改修)	682	有り	13,811	10,518	9,585	↓	357	27	367	維持			
山古志	やまこしコミュニティセンター	1997	4,339	有り	705	754	378	↓	359	1	641	維持			
山古志	種芋原地区センター	1980	2,207		1,300	1,000	1,023	→	357	3	263	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
山古志	虫亀地区センター	1983	2,283	有り	1,500	1,500	943	↓	357	3	582	維持			
小国	おぐにコミュニティセンター	1984	2,758	有り	21,206	21,056	14,230	↓	357	40	729	維持			
小国	法末集落管理センター	1978	172		108	40	0	↓	365	0	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
和島	わしまコミュニティセンター	1994	-	有り	-	-	7,621	-	360	21	929	維持			延床面積は「和島支所」に含む。
寺泊	寺泊コミュニティセンター	1997	2,393	有り	24,332	17,602	15,256	↓	324	47	740	維持			
寺泊	寺泊本山センター	2005	620		2,187	3,884	1,751	↓	89	20	460	維持			
寺泊	寺泊山ノ脇センター	1975	1,986		3,054	2,613	1,334	↓	113	12	1,189	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
寺泊	寺泊野積センター	2015	397	有り	3,814	4,855	3,020	↓	186	16	636	維持			
栃尾	荷頃地区センター	1972	627		6,018	6,191	5,272	↓	197	27	356	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	上塩谷地区センター	1974	748		2,091	2,298	2,019	↓	69	29	595	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
栃尾	西中野俣地区センター	1978	287		1,348	994	1,186	→	90	13	167	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	中地区センター	1978	158		479	808	530	→	56	9	90	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	来伝地区センター	1979	193		1,209	1,300	752	↓	63	12	76	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	半蔵金地区センター	1981	445		991	941	395	↓	48	8	563	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	栗山沢地区センター	1984	342	有り	494	576	316	↓	30	11	491	維持			
栃尾	新山地区センター	1984	316	有り	1,108	765	355	↓	41	9	138	維持			
栃尾	文納地区センター	2002	145	有り	791	759	257	↓	29	9	365	維持			
与板	よいたコミュニティセンター	1980	1,028		20,874	23,106	17,774	↓	357	50	321	除却	令和8年1月に与板地域交流拠点施設へ機能を複合化（移転）後、建物を除却します。	R8	
川口	川口コミュニティセンター	1994	1,760	有り	15,487	15,422	12,564	↓	357	35	584	複合化（存続）	既存施設を改修し、川口地域交流拠点施設の一部として複合化します。	R9	
川口	ふれあい交流館	1993	250	有り	2,446	1,031	1,180	→	-	-	28	維持			
川口	相川三生活改善センター	1980	79		97	77	67	↓	-	-	14,344	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	中山生活改善センター	1981	213		681	532	318	↓	-	-	104	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	木沢集落開発センター	2004	238	有り	825	452	333	↓	-	-	114	維持			
川口	西川口集落開発センター	1992	496	有り	2,548	2,643	1,264	↓	-	-	50	維持			
川口	和南津集会所	2006	415	有り	3,316	3,583	1,590	↓	-	-	51	維持			
川口	中新田集落開発センター	1980	139		475	293	207	↓	-	-	128	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	八郎場集落開発センター	1981	82		136	47	13	↓	-	-	759	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	竹田集落センター	1981	101		193	135	89	↓	-	-	232	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	田中集会所	2006	96	有り	333	202	87	↓	-	-	290	維持			
川口	前原集落開発センター	1988	151	有り	395	404	294	↓	-	-	112	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
川口	大谷内集落開発センター	1988	92	有り	241	291	143	↓	-	-	175	維持			
川口	西倉集落開発センター	1989	119	有り	505	457	487	→	-	-	53	維持			
川口	山の相川団地集落開発センター	1990	84	有り	268	157	184	→	-	-	119	維持			
川口	武道窪集落開発センター	1991	151	有り	986	760	481	↓	-	-	54	維持			
川口	牛ヶ島集落開発センター	1991	248	有り	921	1,021	1,012	→	-	-	59	維持			
川口	貝の沢交流集会施設	1999	213	有り	691	1,098	623	↓	-	-	58	維持			
川口	相川口集会所	2002	98	有り	129	90	63	↓	-	-	380	維持			
川口	川岸集会所	1978	172		462	512	504	→	-	-	55	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	荒谷集会所	1960	161		494	127	60	↓	-	-	840	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	大島集会所	1973	66		61	46	124	↑	-	-	33	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	野田集会所	2006	105	有り	371	353	290	↓	-	-	161	維持			
川口	大形会館	1981	162		288	778	138	↓	-	-	197	集約化（廃止）の検討	利用者数が少なく、地区での施設の維持が困難であることから、近隣の田麦山地区センターへの集約化を検討します。	R8～	
川口	小高集会所	2007	99	有り	301	224	130	↓	-	-	406	維持			
川口	田麦山地区センター	1984	2,685	有り	2,899	2,902	1,813	↓	107	17	969	維持			
川口	泉水地区センター	1983	2,720	有り	1,258	2,293	1,859	→	141	13	923	維持			

5 その他の集会施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：15施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.31のとおり

現状と課題	その他の集会施設については、利用者の減少、建物の老朽化、同一地域内の複数立地など課題を有しています。 第1期計画では、栃尾地域交流拠点施設トチオーレに機能移転した栃尾文化センターを改修し、栃尾支所庁舎に転用、また、ゲストハウス坂井邸は廃止しました。川口文化会館は、整備中の地域交流拠点施設内への複合化を進めています。
今後の方針	その他の集会施設は、原則として、今後も機能を維持します。また、他の施設との複合化・多機能化の可能性を検討します。ただし、地域コミュニティの拠点であっても、利用人数や機能の重複の状況によって、廃止・縮小・集約化等を検討するほか、開館日・開館時間の見直しを行い、管理運営経費の削減を図ります。
取組内容	ア 複合化・集約化を推進する施設 米百俵プレイス、川口地域交流拠点施設（仮称） イ 他施設へ機能移転（集約化）する施設 まちなかキャンパス長岡 ウ 今後のあり方を検討する施設 中之島講堂（旧中之島支所倉庫）、栃尾表町雁木の駅 エ 開館日・開館時間を見直す施設 アオーレ長岡（コミュニティ施設分）

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	まちなかキャンパス長岡	2011	1,941	有り	126,327	100,418	67,328	↘	335	201	487	集約化 (縮小)	令和8年度のミライエ長岡東館の開館にあわせて機能を集約します。	R8	
長岡	米百俵プレイスミライエ長岡西館	2023	4,574	有り	-	-	349,548	-	335	1,043	216	維持			
長岡	アオーレ長岡(コミュニティ施設分)	2012	-	有り	1,087,087	1,087,075	886,084	↘	359	2,468	▲26	維持	使用料及び減免基準の見直しを検討し、財源確保を図ります。また、利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R8～	利用者一人当たり維持管理費の一部と延床面積は「長岡市役所本庁舎(アオーレ長岡)」に含む。
中之島	風会館	1996	156	有り	844	571	649	→	305	2	102	維持			
中之島	中之島講堂(旧中之島支所倉庫)	1971	-		-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	延床面積は「中之島支所倉庫」に含む。
越路	越路児童交流会館	1998	991	有り	18,960	18,172	9,873	↘	357	28	0	維持			
越路	越路地域交流館	2004	396	有り	4,740	2,235	291	↘	357	1	3,504	維持			
三島	みしま会館	1993	1,513	有り	38,339	27,512	22,468	↘	357	63	230	維持			
三島	みしま交流センター	1991	937	有り	19,243	14,798	17,485	→	357	49	201	維持			
小国	小国会館	1986	1,497	有り	10,644	5,108	4,131	↘	357	12	919	維持			
和島	地域交流館わしま	2009	611	有り	4,296	4,242	2,323	↘	358	6	771	維持			
栃尾	栃尾地域交流拠点施設	2022	4,271	有り	-	-	199,322	-	307	649	147	維持			
栃尾	栃尾表町雁木の駅	1931	183		3,619	2,765	674	↘	116	6	963	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	
与板	与板ふれあい交流センター	1997	605	有り	3,810	1,280	1,077	↘	357	3	4,274	維持			
川口	川口文化会館	1978	912	なし	2,470	1,248	522	↘	300	2	6,654	-	-	-	令和7年度除却予定
川口	川口地域交流体験館	2000	783	有り	4,212	3,854	2,586	↘	245	11	1,548	維持			

6 小学校・中学校

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：79校

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 33～P. 36のとおり

現状と課題	小学校・中学校については、同規模の他市と比べて学校の施設数が多く、施設の老朽化も進んでいます。また、現在、複式学級となっている小学校が10校あります。 学校給食については、全79校のうち、61校が自校調理を行っていますが、児童生徒数の減少による調理数の減少と施設設備の老朽化などの課題があります。 さらに、多くの学校プールについては老朽化が進むなか、年間数十日の利用におけるプールの維持が問題となっています。 第1期計画においても、学校の統廃合、給食共同調理場化、学校プールの廃止を行いました。引き続きこれらの課題に取り組んでいく必要があります。
今後の方針	児童生徒の望ましい教育環境整備を主目的として、継続的に複式学級が見込まれる小規模校について、将来児童・生徒数の動向を見据え、保護者や地域等と話し合いを進めながら、機能・規模の見直しや統廃合を進めます。 食数が少なく調理施設が老朽化した学校の給食について、近隣の調理食数に余裕がある学校で調理し、配送する形に見直しを進めます。 学校プールについては、教育活動に支障のない範囲で、複数校による共同化や市営・民間プールの利用を図ります。 なお、大規模改修時には、機能や規模の見直しを進め、適正な範囲と内容で整備します。 本計画による市全体の公共施設の適正配置も踏まえ、前述のような教育環境の変化にも柔軟に対応しながら、合理的な施設整備を推進します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	阪之上小学校	2001	7,700	有り	299	279	211	↘	-	-	95,777	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	中島小学校	1979	5,570	有り (補強)	201	188	172	↘	-	-	75,346	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	表町小学校	1959	5,032	有り (補強)	166	146	157	→	-	-	78,549	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	神田小学校	1973	5,115	有り (補強)	115	135	124	→	-	-	95,133	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	新町小学校	1965	7,855	有り (補強)	419	378	303	↘	-	-	57,093	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	川崎小学校	1972	7,869	有り (補強)	365	330	324	↘	-	-	63,558	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	四郎丸小学校	1969	6,600	有り (補強)	453	432	352	↘	-	-	45,234	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	千手小学校	1985	7,434	有り (補強)	347	325	321	↘	-	-	61,638	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	富曽亀小学校	1974	8,162	有り (補強)	623	576	582	→	-	-	42,944	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	黒条小学校	1980	7,122	有り (補強)	650	602	449	↘	-	-	40,590	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	新組小学校	1980	4,800	有り (補強)	125	95	74	↘	-	-	123,972	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	桂小学校	1997	3,962	有り	39	38	29	↘	-	-	302,166	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	浦瀬小学校	1980	3,778	有り (補強)	91	87	95	↗	-	-	118,738	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	柿小学校	1989	4,860	有り	115	103	95	↘	-	-	89,698	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	栖吉小学校	1972	7,536	有り (補強)	425	403	371	↘	-	-	44,868	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	前川小学校	1988	4,121	有り	114	219	281	↗	-	-	46,351	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	宮内小学校	1982	7,901	有り	513	533	468	↘	-	-	41,749	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	上組小学校	1971	7,163	有り (補強)	455	441	352	↘	-	-	55,196	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	石坂小学校	1991	3,432	有り	50	38	21	↘	-	-	362,162	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	太田小学校	1974	1,502	有り (補強)	6	7	15	↗	-	-	432,455	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	岡南小学校	1981	3,418	有り (補強)	97	112	84	↘	-	-	115,545	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」 曜日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	十日町小学校	1988	3,102	有り	74	80	62	↘	-	-	138,957	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	大島小学校	1972	8,313	有り (補強)	699	646	592	↘	-	-	39,617	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	才津小学校	1979	3,132	有り (補強)	155	139	104	↘	-	-	97,959	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	深沢小学校	1977	2,741	有り (補強)	54	39	26	↘	-	-	216,959	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	日越小学校	1980	7,529	有り (補強)	488	450	467	→	-	-	40,669	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	関原小学校	1987	5,921	有り	549	505	396	↘	-	-	36,553	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	福戸小学校	1986	3,009	有り	99	139	122	→	-	-	64,121	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	下川西小学校	1994	3,637	有り	75	61	59	↘	-	-	161,705	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	上川西小学校	1968	8,815	有り (補強)	728	655	569	↘	-	-	38,380	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	宮本小学校	1986	3,070	有り	63	53	46	↘	-	-	174,814	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	希望が丘小学校	1978	7,202	有り (補強)	392	375	313	↘	-	-	55,043	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	豊田小学校	1981	6,735	有り (補強)	371	463	704	↗	-	-	54,015	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	川崎東小学校	1983	6,142	有り	295	283	311	↗	-	-	55,184	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	青葉台小学校	1990	5,076	有り	329	302	258	↘	-	-	56,376	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
中之島	中之島中央小学校	1978	7,789	有り (補強)	334	333	329	↘	-	-	34,352	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
中之島	上通小学校	1984	3,974	有り	128	121	75	↘	-	-	101,852	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
中之島	信条小学校	1980	3,695	有り (補強)	95	78	46	↘	-	-	146,433	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
越路	越路小学校	1970	7,687	有り (補強)	595	629	554	↘	-	-	35,982	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
越路	越路西小学校	2004	7,915	有り	165	173	131	↘	-	-	155,746	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
三島	日吉小学校	1994	3,626	有り	75	56	43	↘	-	-	171,974	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
三島	脇野町小学校	1999	8,149	有り	333	285	212	↘	-	-	101,901	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
山古志	山古志小学校	2006	2,318	有り	20	21	9	↘	-	-	1,140,866	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
小国	小国小学校	1986	4,382	有り	83	153	120	→	-	-	82,006	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
和島	和島小学校	2009	5,740	有り	186	153	134	↘	-	-	143,950	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
寺泊	寺泊小学校	1973	4,933	有り (補強)	213	188	154	↘	-	-	85,239	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
寺泊	大河津小学校	1981	4,711	有り (補強)	178	148	113	↘	-	-	90,898	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
栃尾	栃尾南小学校	1980	7,783	有り (補強)	300	278	158	↘	-	-	84,270	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
栃尾	栃尾東小学校	1976	8,176	有り (補強)	301	274	239	↘	-	-	68,749	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
栃尾	東谷小学校	1969	3,469	有り (補強)	90	62	52	↘	-	-	192,404	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
与板	与板小学校	1974	6,302	有り (補強)	330	292	255	↘	-	-	52,266	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
川口	川口小学校	1985	5,189	有り	240	194	124	↘	-	-	75,516	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童数。
長岡	東中学校	2008	11,078	有り	380	363	335	↘	-	-	84,339	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	南中学校	1962	9,390	有り (補強)	430	426	422	↘	-	-	40,851	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	北中学校	1966	6,592	有り (補強)	193	162	155	↘	-	-	74,469	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	栖吉中学校	1974	5,839	有り (補強)	173	202	199	→	-	-	65,408	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	宮内中学校	1961	13,701	有り	576	552	638	↗	-	-	45,500	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	東北中学校	1964	10,625	有り (補強)	812	695	602	↘	-	-	44,738	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	西中学校	1969	10,064	有り (補強)	589	507	471	↘	-	-	45,411	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	江陽中学校	1972	7,604	有り (補強)	374	420	398	→	-	-	39,218	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	堤岡中学校	1968	6,465	有り (補強)	367	383	330	↘	-	-	48,580	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	山本中学校	1982	4,165	有り	68	49	61	→	-	-	174,378	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	岡南中学校	1965	3,748	有り (補強)	132	110	92	↘	-	-	141,287	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	太田中学校	1975	1,859	有り (補強)	23	13	34	↗	-	-	131,944	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	関原中学校	1990	5,599	有り	270	243	231	↘	-	-	72,721	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	大島中学校	1985	6,115	有り	370	335	301	↘	-	-	49,824	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	青葉台中学校	1985	4,867	有り	214	207	158	↘	-	-	78,975	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
長岡	旭岡中学校	1996	8,677	有り	260	259	286	↗	-	-	79,747	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
中之島	中之島中学校	1992	11,767	有り	312	276	266	↘	-	-	102,562	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
越路	越路中学校	1961	8,015	有り (補強)	362	358	395	↗	-	-	42,261	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
三島	三島中学校	1975	6,763	有り (補強)	199	195	172	↘	-	-	63,037	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
山古志	山古志中学校	2006	3,218	有り	14	10	10	→	-	-	272,673	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
小国	小国中学校	1968	6,153	有り (補強)	108	75	63	↘	-	-	173,377	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
和島	北辰中学校	1981	5,150	有り (補強)	116	96	74	↘	-	-	135,382	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
寺泊	寺泊中学校	1996	9,790	有り	222	188	164	↘	-	-	104,759	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
栃尾	秋葉中学校	1992	10,000	有り	239	182	147	↘	-	-	102,572	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
栃尾	刈谷田中学校	1988	10,445	有り	208	188	171	↘	-	-	99,377	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
与板	与板中学校	1989	6,865	有り	185	168	148	↘	-	-	77,077	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。
川口	川口中学校	1976	7,677	有り (補強)	115	117	79	↘	-	-	186,724	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。

7 総合支援学校・高等総合支援学校

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：2施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 38のとおり

現状と課題	総合支援学校・高等総合支援学校は、障害等により特別な支援が必要な児童生徒に、発達段階に応じた教育や生活上の自立を促すために必要な教育を提供する学校であり、児童生徒数は増加傾向となっています。
今後の方針	総合支援学校・高等総合支援学校は、今後も機能を維持することとし、児童生徒数の推計などを参照しながら、学校規模適正化について、保護者、地域の意向を尊重して、取り組んでいきます。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	総合支援学校	1994	8,551	有り	106	125	142	↗	-	-	260,882	維持			利用者数は5月1日時点の在籍児童・生徒数。
長岡	高等総合支援学校	2012	6,050	有り	137	146	152	↗	-	-	18,708	維持			利用者数は5月1日時点の在籍生徒数。

8 給食共同調理場

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：7施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.40のとおり

現状と課題	給食共同調理場は、児童・生徒数の減少に伴う調理数の減少や建物の老朽化など課題を有しています。同様に、自校で給食を調理している学校においても、同様の課題を有しています。 第1期計画では、4校で自校調理を廃止しました。
今後の方針	給食共同調理場は、原則として、今後も機能を維持します。また、食数が少なく調理施設が老朽化した学校の給食について、近隣の調理食数に余裕がある共同調理場で調理し、配送する形に見直しを進めます。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	旭岡学校給食共同調理場	1996	－	有り	－	－	1,166	－	－	－	652	維持			・利用者数は一日当たりの調理（食）数 ・延床面積は「旭岡中学校」に含む。
長岡	上組学校給食共同調理場	1971	－	有り (補強)	－	－	－	－	－	－	－	維持			延床面積は「上組小学校」に含む。
中之島	中之島学校給食共同調理場	1992	－	有り	697	663	808	↗	－	－	18,573	維持			・利用者数は一日当たりの調理（食）数 ・延床面積は「中之島中学校」に含む。
越路	越路学校給食共同調理場	2004	－	有り	－	400	374	－	－	－	1,989	維持			・利用者数は一日当たりの調理（食）数 ・延床面積は「越路西小学校」に含む。
三島	三島学校給食共同調理場	1999	－	有り	673	597	477	↘	－	－	4,739	維持			・利用者数は一日当たりの調理（食）数 ・延床面積は「脇野町小学校」に含む。
与板	与板学校給食共同調理場	1989	593	有り	621	555	452	↘	－	－	19,247	維持			利用者数は一日当たりの調理（食）数
川口	川口学校給食共同調理場	2014	－	有り	396	350	232	↘	－	－	15,976	維持			・利用者数は一日当たりの調理（食）数 ・延床面積は「川口中学校」に含む。

9 教育センター

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：1施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.42のとおり

現状と課題	教育センターは、市内唯一の教職員の支援・研究施設であり、研修室や天体観測室等が備わっています。
今後の方針	教育センターは、教員研修施設として将来も必要であるため機能は維持しますが、研修室など他の施設との共用化も可能であることから、大規模改修が必要となった時点で、他施設との複合化を検討します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	教育センター	1988	2,606	有り	18,693	18,791	5,688	↓	241	24	2,764	維持			

10 子ども・青少年相談センター

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：1施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.44のとおり

現状と課題	子ども・青少年相談センターは、小学生から20歳未満の子ども・青少年及びその保護者を対象とした、不登校やいじめ、行動や発達等に関する相談施設です。市内には電話による相談を受ける施設は複数存在しますが、継続した面接が可能であり、かつ、利用者に直接関わって、心理療法や教育を行う施設は子ども・青少年相談センターのみです。
今後の方針	子ども・青少年相談センターは、市内で唯一、教育・心理・福祉の観点から、子ども・青少年の相談をワンストップで受ける機能を持つ施設です。また、市営で唯一の不登校等に関する相談施設というセーフティネットとしての役割を果たします。さらに、関連する機関（家庭児童相談室、要保護児童対策地域協議会、適応指導教室、長岡少年サポートセンターなど）と学校、家庭をつなぐ役割を担っているため、機能を維持します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要建築物	延床面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」	一日当たり利用者 [人]	利用者一人当たり管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の方向性	内容	実施時期	
長岡	子ども・青少年相談センター	1988	-	有り	-	-	7,249	-	241	30	95	維持			延床面積は「教育センター」に含む。

11 保育園・認定こども園

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：31施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 46～P. 47のとおり

現状と課題	公立保育園・認定こども園は、保育需要の実態を把握し、市域全体に保育が受けられる環境を整えるとともに、行政機関としてのネットワークを生かし、子ども一人一人に応じた保育を提供すること、さらには研修や実践事例の共有などを通じて市全体の保育水準の向上に寄与する役割を担っています。 しかしながら、少子化による入園児童数の減少、保育ニーズの多様化、施設の老朽化といった課題に直面しており、特色のある保育を展開する私立園の運営状況も考慮しつつ、統廃合を含む公立園の適正配置について検討を進めていく必要があります。 なお、第1期計画期間においては、統廃合2施設、民営化2施設を実施しました。
今後の方針	入園児童数が概ね20人を下回る施設について、適正な規模での集団保育及び保育におけるセーフティネットを確保する観点を考慮するとともに、これまでの入園児童数の推移と今後の動向、地域における私立保育施設の立地状況、保護者の意見や地域の実情等を踏まえた上で、統廃合を含む公立園の適正配置に取り組んでいきます。
取組内容	上記方針に基づき、各年度の公立園への入園申込状況を注視し、統廃合の検討の必要性がある施設について、保護者への説明を含む意見調整を速やかに実施していきます。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	南部保育園	1982	685	有り	60	51	41	↘	-	-	123,370	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	北部保育園	1985	693	有り	86	42	54	→	-	-	142,329	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	けさじろ保育園	1990	870	有り	121	95	93	↘	-	-	64,054	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	中沢保育園	1994	606	有り	73	69	56	↘	-	-	112,978	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	山本保育園	1996	713	有り	54	66	53	↘	-	-	91,545	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	栖吉保育園	1985	400	有り	30	28	14	↘	-	-	259,025	あり方 の検討	令和9年3月末で閉園予定であり、 かつ、借地であることから、除却を 含めて今後のあり方を検討します。	R8～	利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	昭和保育園	1987	832	有り	58	37	20	↘	-	-	200,834	あり方 の検討	令和9年3月末で閉園予定であり、 その後の施設の利活用の可能性を検 討します。	R8～	利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	上除保育園	2002	1,361	有り	160	127	159	→	-	-	57,029	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	山通保育園	1998	704	有り	56	75	80	↗	-	-	73,623	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	三和保育園	1969	718	有り (補強)	70	43	54	→	-	-	81,088	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	富曽亀保育園	1996	693	有り	74	55	55	→	-	-	99,298	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	中貫保育園	1974	620		93	86	68	↘	-	-	73,194	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	宮本保育園	1976	630		73	54	23	↘	-	-	151,814	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	十日町保育園	1981	567		37	17	14	↘	-	-	245,729	あり方 の検討	令和8年3月末で閉園予定であり、 その後の施設の利活用の可能性を検 討します。	R8～	利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	新組保育園	1981	601		56	40	28	↘	-	-	208,419	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	下川西保育園	1984	656	有り	50	29	16	↘	-	-	330,196	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
長岡	石坂保育園	1984	619	有り	25	13	18	→	-	-	246,134	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
中之島	上通保育園	1990	789	有り	78	51	54	→	-	-	88,710	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
中之島	みずほ保育園	2001	1,104	有り	72	59	72	→	-	-	134,702	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
中之島	信条保育園	1997	766	有り	42	34	29	↘	-	-	213,627	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
越路	来迎寺保育園	1972	697	有り (補強)	83	77	61	↘	-	-	77,653	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
越路	塚山保育園	2005	991	有り	33	26	19	↘	-	-	379,835	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
越路	岩塚保育園	1974	780		80	67	46	↘	-	-	108,818	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
越路	白山保育園	2012	1,381	有り	156	138	115	↘	-	-	76,086	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
三島	みしま南保育園	1980	553		28	16	26	→	-	-	159,209	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
山古志	竹沢保育園	1975	463		15	6	0	↘	-	-	-	あり方 の検討	地域の実情を踏まえ、今後のあり方 を検討します。	R8～	・令和3年4月から休園 ・利用者数は年度当初の 在席園児数
小国	ひまわり保育園	2000	1,759	有り	92	91	49	↘	-	-	174,647	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
和島	和島こども園	1986	1,847	有り	100	87	74	↘	-	-	139,159	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数。H27、R1は、 和島保育園及び和島幼稚 園の園児数の合計。
寺泊	おおこうづ保育園	2007	1,337	有り	94	105	62	↘	-	-	186,204	維持			利用者数は年度当初の在 席園児数
川口	かわぐち保育園	2024	1,939	有り	-	-	63	-	-	-	278,421	維持			・令和7年1月開園 ・利用者数は年度当初の 在席園児数
川口	東川口保育園	1978	1,006		81	87	-	-	-	-	-	-	-	-	・令和7年1月からかわぐ ち保育園に移転。 ・利用者数は年度当初の 在席園児数
与板	与板幼稚園	1977	1,372		55	26	7	↘	-	-	447,327	あり方 の検討	令和8年3月末で閉園予定であり、 その後の施設の利活用の可能性を検 討します。	R8～	利用者数は年度当初の在 席園児数

12 児童会館・児童クラブ

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：65施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 49～P. 52のとおり

現状と課題	児童会館・児童クラブは、児童が放課後に安全に過ごす場として小学校区に合わせて配置されています。利用者数の増減には地域差があり、各地域の受け入れ体制に課題を有しています。 第1期計画では、小学校の統廃合に合わせた児童会館・児童クラブの統廃合を行いました。
今後の方針	児童会館・児童クラブは、児童が放課後に安全に過ごす場として今後も機能を維持しますが、小学校区に合わせて配置されているため、小学校の統廃合などを踏まえながら、今後のあり方を検討します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設 の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	関原児童会館	2010	－	有り	17,866	17,198	17,160	↘	289	59	0	維持			延床面積は「関原コミュニティセンター」に含む。
長岡	栖吉児童会館	2013	－	有り	16,747	15,188	16,487	→	291	57	18	維持			延床面積は「栖吉コミュニティセンター」に含む。
長岡	希望が丘児童会館	1986	－	有り	23,185	18,974	18,669	↘	261	72	0	維持			延床面積は「希望が丘コミュニティセンター」に含む。
長岡	大島児童会館	1988	－	有り	20,973	7,750	12,060	→	293	41	0	維持			延床面積は「大島コミュニティセンター」に含む。
長岡	大島第二児童クラブ	2018	640	有り	－	13,934	15,475	－	293	53	83	維持			
長岡	川崎児童会館	1988	－	有り	3,625	2,334	4,161	↗	286	15	0	維持			延床面積は「川崎コミュニティセンター」に含む。
長岡	川崎東児童クラブ	2014	524	有り	9,160	9,202	14,948	↗	293	51	32	維持			
長岡	千手児童会館	1988	－	有り	11,867	17,726	19,633	↗	293	67	0	維持			延床面積は「千手コミュニティセンター」に含む。
長岡	上組児童会館	1989	－	有り	6,488	7,588	9,713	↗	291	33	21	維持			延床面積は「宮内コミュニティセンター分室」に含む。
長岡	上組第二児童クラブ	2019	595	有り	8,331	8,755	6,832	↘	272	25	26	維持			
長岡	大積児童会館	1989	－	有り	4,213	2,573	1,981	↘	286	7	0	維持			延床面積は「大積コミュニティセンター」に含む。
長岡	阪之上児童会館	1990	290	有り	6,325	8,087	5,798	↘	290	20	63	維持			
長岡	中島児童会館	1990	－	有り	8,223	6,437	7,980	→	291	27	18	維持			延床面積は「中島コミュニティセンター」に含む。
長岡	福戸児童会館	1990	－	有り	5,650	6,686	6,908	↗	270	26	0	維持			延床面積は「福戸コミュニティセンター」に含む。
長岡	豊田児童会館	1991	136	有り	8,885	21,122	13,486	→	242	56	0	維持			
長岡	豊田第二児童クラブ	2021	282	有り	－	－	21,701	－	291	75	3	維持			
長岡	富曽亀児童会館	1991	－	有り	14,291	13,636	18,168	↗	269	68	6	維持			延床面積は「富曽亀コミュニティセンター」に含む。
長岡	富曽亀第二児童クラブ	2010	214	有り	－	7,944	8,272	－	290	29	81	維持			
長岡	山本児童会館	1991	－	有り	5,152	6,444	8,635	↗	253	34	25	維持			延床面積は「山本コミュニティセンター」に含む。
長岡	新町児童会館	1992	－	有り	14,678	14,775	14,023	↘	292	48	13	維持			延床面積は「新町コミュニティセンター」に含む。
長岡	六日市児童会館	1992	－	有り	2,412	2,812	1,619	↘	286	6	0	維持			延床面積は「六日市コミュニティセンター」に含む。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	表町児童会館	1993	-	有り (補強)	4,156	6,622	9,368	↗	260	36	24	維持			延床面積は「表町コミュニティセンター」に含む。
長岡	神田児童会館	1994	-	有り	5,391	6,327	5,252	↘	286	18	0	維持			延床面積は「神田コミュニティセンター」に含む。
長岡	宮内児童会館	1996	661	有り	-	-	11,112	-	267	42	3	維持			
長岡	宮内第二児童クラブ	1996	-	有り	-	5,941	6,309	-	265	24	7	維持			延床面積は「宮内コミュニティセンター分館」に含む。
長岡	新組児童会館	1997	-	有り	6,810	3,086	5,083	→	282	18	0	維持			延床面積は「新組コミュニティセンター」に含む。
長岡	宮本児童会館	1998	-	有り	6,730	4,770	4,292	↘	286	15	22	維持			延床面積は「宮本コミュニティセンター」に含む。
長岡	川崎中央児童会館	1999	-	有り	14,691	13,980	16,743	↗	293	57	2	維持			延床面積は「川崎コミュニティセンター分館」に含む。
長岡	桂児童会館	1997	-	有り	5,838	5,651	2,654	↘	286	9	17	維持			延床面積は「桂小学校」に含む。
長岡	黒条児童会館	2005	-	有り	26,008	9,737	8,270	↘	289	29	14	維持			延床面積は「黒条コミュニティセンター」に含む。
長岡	黒条第二児童クラブ	2005	-	有り	-	15,051	12,431	-	238	52	0	維持			延床面積は「黒条コミュニティセンター」に含む。
長岡	前川児童会館	1988	-	有り	8,319	12,087	14,431	↗	292	49	3	維持			延床面積は「前川小学校」に含む。
長岡	石坂児童会館	1991	-	有り	2,552	1,716	1,081	↘	286	4	31	維持			延床面積は「石坂小学校」に含む。
長岡	山谷沢児童会館	1981	-	有り (補強)	5,574	2,468	3,508	→	286	12	10	維持			延床面積は「岡南小学校」に含む。
長岡	下川西児童会館	1994	-	有り	6,547	5,217	6,015	→	286	21	6	維持			延床面積は「下川西小学校」に含む。
長岡	深沢児童会館	借用 施設	99		3,001	1,281	1,595	→	286	6	987	維持			
長岡	才津児童会館	2002	253	有り	7,570	7,419	4,229	↘	244	17	75	維持			
長岡	山通児童会館	2001	-	有り	4,443	3,869	5,498	↗	287	19	5	維持			延床面積は「山通コミュニティセンター」に含む。
長岡	上川西児童会館	1986	-	有り	24,045	16,071	18,802	→	279	67	3	維持			延床面積は「上川西コミュニティセンター分室」に含む。
長岡	十日町児童会館	1990	-	有り	5,908	5,613	5,322	↘	286	19	0	維持			延床面積は「十日町コミュニティセンター」に含む。
長岡	四郎丸児童会館	1995	-	有り	18,865	12,471	16,612	→	270	62	13	維持			延床面積は「四郎丸コミュニティセンター」に含む。
長岡	四郎丸児童クラブ 分室	1969	-	有り (補強)	-	4,454	-	-	-	-	-	維持			延床面積は「四郎丸小学校」に含む。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 要 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設 の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	青葉台児童会館	2022	494	有り	-	-	10,490	-	291	36	5	維持			
長岡	日越児童会館	2003	-	有り	11,684	14,097	17,007	↗	269	63	0	維持			延床面積は「日越コミュニティセンター」に含む。
長岡	太田児童会館	1981	-		-	511	1,332	-	286	5	0	維持			延床面積は「太田コミュニティセンター」に含む。
中之島	みずほ児童会館	2001	-	有り	5,881	5,787	8,250	↗	290	28	4	維持			延床面積は「みずほ保育園」に含む。
中之島	中条児童会館	1994	-	有り	3,670	3,574	3,650	→	290	13	563	維持			延床面積は「中之島コミュニティセンター中条分室」に含む。
中之島	上通児童クラブ	2022	-	有り	6,280	7,444	6,055	↘	282	21	10	維持			延床面積は「中之島コミュニティセンター上通分室」に含む。
中之島	中之島中央児童クラブ	1978	-	有り (補強)	4,432	7,119	9,706	↗	277	35	7	維持			延床面積は「中之島中央小学校」に含む。
中之島	信条児童クラブ	1980	-	有り (補強)	1,958	2,142	1,825	↘	246	7	16	維持			延床面積は「信条小学校」に含む。
越路	越路ひだまり児童クラブ	1998	-	有り	11,819	12,379	14,618	↗	290	50	0	維持			延床面積は「越路児童交流会館」に含む。
越路	越路ひだまり児童クラブ分室	1996	1,422	有り	-	4,176	2,523	-	229	11	0	維持			
越路	越路るんるん児童クラブ	2004	-	有り	1,877	2,904	3,945	↗	240	16	0	維持			延床面積は「越路地域交流館」に含む。
三島	脇野町児童クラブ	1991	-	有り	11,129	7,785	6,896	↘	251	27	7	維持			延床面積は「みしま交流センター」に含む。
三島	日吉児童クラブ	1994	-	有り	2,362	1,699	920	↘	250	4	52	維持			延床面積は「日吉小学校」に含む。
山古志	やまっ子クラブ	1997	-	有り	2,378	1,405	1,001	↘	235	4	0	維持			延床面積は「やまこしコミュニティセンター」に含む。
小国	おひさま児童クラブ	1984	-	有り	3,364	3,897	3,690	→	253	15	18	維持			延床面積は「小国コミュニティセンター」に含む。
和島	和島児童クラブ	2009	-	有り	2,304	1,444	2,098	→	240	9	14	維持			延床面積は「和島小学校」に含む。
寺泊	大河津児童クラブ	1997	-		3,589	1,489	2,750	→	270	10	0	維持			延床面積は「大河津小学校」に含む。
寺泊	寺泊児童クラブ	1973	-	有り (補強)	-	2,440	5,931	-	246	24	0	維持			延床面積は「寺泊小学校」に含む。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要建築物	延床面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				「開館日」	一日当たり利用者 [人]	利用者一人当たり管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の方向性	内容	実施時期	
栃尾	栃尾南児童クラブ	1980	－	有り(補強)	－	4,664	2,727	－	278	10	13	維持			延床面積は「栃尾南小学校」に含む。
栃尾	栃尾東児童クラブ	1977	113	有り(補強)	－	5,453	5,715	－	247	23	7	維持			
栃尾	東谷児童クラブ	1969	－	有り(補強)	－	3,552	3,810	－	261	15	9	維持			延床面積は「東谷小学校」に含む。
栃尾	下塩児童クラブ	－	－		－	2,750	1,062	－	241	4	0	－	－	－	令和6年度廃止
与板	たちばな児童クラブ	1997	－	有り	7,475	6,781	6,820	→	272	25	0	維持			延床面積は「与板ふれあい交流センター」に含む。
川口	川口児童クラブ	1985	－	有り	6,133	5,194	4,631	↘	256	18	7	維持			延床面積は「川口小学校」に含む。

13 子育ての駅

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：13施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 54のとおり

現状と課題	子育ての駅は、子育てしやすい環境づくりを目的として、全地域に配置されています。利用者の減少などの課題を有しています。 子育ての駅かわぐちについては、整備中の地域交流拠点施設内への複合化を進めています。
今後の方針	子育ての駅は、子育てしやすい環境づくりとして全地域に配置されており、今後も機能を維持します。 なお、各子育ての駅の現状を整理し、機能や開館時間等の見直しを検討します。
取組内容	ア 他施設への複合化を進め、旧施設を廃止する施設 子育ての駅かわぐち イ 民間施設へ移転する施設 子育ての駅よいた ウ 開館日の見直し・開館時間の短縮を検討する施設 全ての施設

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				〔開 館 日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	子育ての駅ちびっこ広場	2010	1,406		43,112	35,742	31,851	↘	362	88	153	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	
長岡	子育ての駅ながおか市民防災センター	2010	1,453	有り	61,827	51,595	40,417	↘	312	130	15	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	
長岡	子育ての駅千秋	2009	1,305	有り	152,350	121,650	100,026	↘	309	324	40	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	
中之島	子育ての駅なかのしま	2001	－	有り	1,035	2,380	1,924	→	240	8	18	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「みずほ保育園」に含む。
越路	子育ての駅こしじ	2001	1,608	有り	1,949	3,984	2,443	→	238	10	67	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	
三島	子育ての駅みしま	－	－		2,003	6,838	3,358	→	251	13	82	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	私立こども園に業務委託しているため延床面積は空欄。
山古志	子育ての駅やまこし	1997	－	有り	323	805	461	→	249	2	0	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「やまこしコミュニティセンター」に含む。
小国	子育ての駅おぐに	2000	－	有り	394	1,487	1,205	→	241	5	27	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「ひまわり保育園」に含む。
和島	子育ての駅わしま	1994	309	有り	－	3,275	1,283	－	251	5	687	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	
寺泊	子育ての駅てらどまり	2007	－	有り	921	1,525	1,102	→	241	5	12	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「おおこうづ保育園」に含む。
栃尾	子育ての駅とちお	1998	－	有り	9,071	7,532	4,149	↘	208	20	16	維持	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「栃尾産業交流センター」に含む。
与板	子育ての駅よいた	1977	－		－	4,385	2,200	－	251	9	15	移転 （廃止）	利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	延床面積は「与板幼稚園」に含む。
川口	子育ての駅かわぐち	1983	449	有り	－	5,044	1,661	－	292	6	276	複合化 （廃止）の 検討	川口地域交流拠点施設（仮称）へ機能を複合化（移転）後、建物の廃止を検討します。また、利用実態等を踏まえて、機能や開館時間等の見直しを検討します。	R9～	

14 児童養護施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：1施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 56のとおり

現状と課題	児童養護施設は、保護者のいない児童や被虐待児童等を受け入れる施設です。市内だけでなく県内の各地の子どもを受け入れており、改築後35年を経て、建物・設備ともに老朽化が著しい状態です。
今後の方針	児童養護施設は、近年児童虐待が増加傾向にあることから、セーフティネットとしての役割を果たすため、機能を維持します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	双葉寮	1990	1,096	有り	9,913	9,103	9,863	→	365	27	651	維持			

15 児童発達支援センター

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

- ①該当施設：1施設
- ②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 58のとおり

現状と課題	児童発達支援センターは、発達に支援が必要な児童とその家族を専門的かつ総合的に支援するとともに、地域の障害児通所支援事業所等に対し、相談や専門的な助言等必要な援助を行うことで、地域の療育支援体制の質を向上を図る中核的な役割を担う施設です。市内には、柿が丘学園のほか民間の児童発達支援センターが2カ所の計3カ所存在しています。 支援が必要な子どもの増加により、障害児通所支援事業所は年々増加傾向にあり、柿が丘学園をはじめ児童発達支援センターの役割が求められています。
今後の方針	児童発達支援センターは、少子化により児童数は減少するものの、支援が必要な子どもは今後も増加が見込まれることから、柿が丘学園の利用者が引き続き一定数想定されることに加え、地域の療育支援体制の充実のため、専門的な助言・支援など中核的な役割を担う必要があるため、機能を維持します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	柿が丘学園	1988	666	有り	3,568	4,252	3,293	↘	286	12	1,268	維持			

16 高齢者福祉施設（デイサービス事業を除く。）

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：18施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 60のとおり

現状と課題	高齢者福祉施設は、高齢者の健康増進等を図るために設置された施設ですが、利用者のニーズの変化等により利用者数は減少し、固定化しています。 第1期計画では、利用者数の減少、施設の老朽化や管理運営経費の高騰を踏まえ、一定の役割を果たしたと判断した施設の廃止や、入浴サービスを提供する施設の段階的縮小などに取り組みました。
今後の方針	閉館した施設の除却を進めるとともに、長岡地域の施設においても、利用者ニーズの変化や利用者数の減少、近隣の公共、民間施設の状況を勘案し、統廃合や複合化などを検討します。 また、維持する施設についても、開館日・開館時間の見直しなど、管理運営方法の最適化を図ります。
取組内容	ア 今後のあり方を検討する施設 高齢者センター（けさじろ、しなの、ふそき、まきやま、みやうち、ロングライフセンター）、越路ふれあいの家、山古志地域福祉センターなごみ苑、老人憩いの家夕映荘 イ 廃止し、除却を検討する施設 高齢者と子どもの家、高齢者センターゆきわり荘 ウ 管理・運営のあり方を見直す施設 社会福祉センター、サンパルコなかのしま、越路総合福祉センター、高齢者センターとちお、志保の里荘、川口地域福祉センター末広荘

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	高齢者センターけさじろ	1992	2,597	有り	38,984	29,168	16,422	↓	311	53	1,611	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R10～	
長岡	高齢者センターしなの	2005	1,490	有り	55,535	39,578	34,746	↓	312	111	1,623	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R10～	
長岡	高齢者センターふそき	1998	3,142	有り	36,905	31,956	10,002	↓	313	32	2,734	あり方の検討	周辺施設の機能の複合化などを含め、今後のあり方を検討します。	R10～	
長岡	高齢者センターまきやま	1996	2,597	有り	21,594	15,083	3,592	↓	306	12	6,227	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	
長岡	高齢者センターみやうち	2000	2,458	有り	34,590	27,546	6,572	↓	314	21	5,645	あり方の検討	周辺施設の機能の複合化などを含め、今後のあり方を検討します。	R10～	
長岡	長岡ロングライフセンター	1980	2,706	有り	30,125	25,010	14,573	↓	309	47	2,805	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R10～	
長岡	社会福祉センター	2016	2,586		－	83,445	60,257	－	359	168	1,212	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏まえ、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	
中之島	サンパルコなかのしま	1991	1,919	有り	10,368	7,215	3,718	↓	357	10	4,177	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏まえ、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	
越路	越路ふれあいの家	1985	99	有り	554	307	165	↓	23	7	204	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R9～	
越路	越路総合福祉センター	1976	1,519	有り (補強)	18,334	15,645	14,259	↓	291	49	431	維持	周辺施設の機能の複合化などを含め、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	
山古志	高齢者と子どもの家	1973	－		88	36	40	→	4	10	3,000	廃止・除却	老朽化の状況を踏まえ、機能を廃止後、建物の除却を進めます。	R8～	延床面積は「虫亀診療所」に含む。
山古志	山古志地域福祉センターなごみ苑	1997	1,792	有り	5,322	4,511	834	↓	292	3	17,331	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R9～	
和島	高齢者コミュニティセンターゆきわり荘	1992	632	有り	5,354	6,888	1,734	↓	243	7	2,160	廃止・除却	老朽化の状況を踏まえ、機能を廃止後、建物の除却を進めます。	R8～	
寺泊	老人憩いの家夕映荘	1975	646		5,772	4,942	2,568	↓	262	10	780	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R9～	
栃尾	高齢者センターとちお	2012	769	有り	74,508	60,802	45,920	↓	306	150	980	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏まえ、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	
与板	志保の里荘	1993	3,514	有り	30,447	28,836	30,170	→	303	100	1,056	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏まえ、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	
川口	高齢者生活支援ハウス川口ぬくもり荘	1993	1,000	有り	7,998	7,555	7,660	→	365	21	12	維持			
川口	川口地域福祉センター末広荘	1998	725	有り	7,690	6,681	3,731	↓	250	15	1,306	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏まえ、管理運営方法の最適化を検討します。	R8～	

17 デイサービスセンター

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：9施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 62のとおり

現状と課題	デイサービスセンターは、民間事業者において同サービスを提供していることから、公設によるサービスの必要性や民間サービスの今後の動向を把握する必要があります。
今後の方針	デイサービスセンターは、原則として、今後も機能を維持しますが、現状における公設デイサービスとしての位置付けを確認し、公と民のバランスを検討したうえで、今後5年～10年間の中期的なあり方の方針を検討します。
取組内容	ア 今後のあり方を検討する施設 デイサービスセンターけさじろ、ふそき、まきやま、みやうち、サンパルコなかのしま、みしま、なごみ苑、わしま、よいた

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				開館日 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	デイサービスセンターけさじろ	1992	-	有り	9,727	9,443	11,584	↗	365	32	▲110	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員40人/日 ・延床面積は「高齢者センターけさじろ」に含む。
長岡	デイサービスセンターふそき	1998	-	有り	13,673	12,439	9,530	↘	364	26	▲134	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員30人/日 ・延床面積は「高齢者センターふそき」に含む。
長岡	デイサービスセンターまきやま	1996	-	有り	8,152	8,408	7,844	↘	365	21	▲129	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員25人/日 ・延床面積は「高齢者センターまきやま」に含む。
長岡	デイサービスセンターみやうち	2000	-	有り	14,002	12,877	11,588	↘	365	32	▲95	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員39人/日 ・延床面積は「高齢者センターみやうち」に含む。
中之島	デイサービスセンターサンパルコなかのしま	1991	-	有り	9,834	8,677	5,970	↘	312	19	▲199	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員27人/日 ・延床面積は「サンパルコなかのしま」に含む。
三島	デイサービスセンターみしま	1996	1,239	有り	8,517	8,360	6,602	↘	365	18	▲91	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	定員25人/日
山古志	デイサービスセンターなごみ苑	1997	-	有り	3,086	2,153	3,036	→	257	12	0	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員18人/日 ・延床面積は「山古志地域福祉センターなごみ苑」に含む。
和島	デイサービスセンターわしま	2000	737	有り	10,605	10,372	7,156	↘	364	20	▲185	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	定員30人/日
与板	デイサービスセンターよいた	1993	-	有り	6,374	5,686	5,397	↘	313	17	▲169	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	・定員25人/日 ・延床面積は「志保の里荘」に含む。

18 障害者福祉施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：2施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 64のとおり

現状と課題	障害者福祉施設は、そのほとんどが民間事業者により運営されており、市が所有する建物も貸付先である民間事業者により運営されています。 第1期計画期間において、ふれあいときめきハウスは貸付先へ売却しました。また、デイライフ中条は、貸付先である民間事業者の移転により使用を終了しました。
今後の方針	障害者福祉施設は、既に貸付先の民間事業者により運営されているため、建物が健全なうちに貸付先への売却・譲渡に向けて検討を行います。 また、売却・譲渡に適さない施設は、老朽化により使用できなくなった時点で廃止します。
取組内容	ア 貸付先への売却・譲渡に向けて検討する施設 障害者福祉施設たんぽぽ イ 老朽化により使用できなくなる前に貸付先へ早期の移転を打診し、移転後に廃止する施設 グループホームかわばた寮

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館 日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	たんぽぽ	1998	174	有り	2,687	2,074	3,001	↗	262	11	5	売却・ 譲渡の 検討	貸付先の民間事業者への売却または譲渡を検討します。	R8～	
小国	グループホームかわばた寮	1970	228		2,196	2,562	1,550	↘	365	4	▲27	廃止	老朽化により使用できなくなる前に貸付先の民間事業者へ早期の移転を打診し、移転後は廃止します。	R8～	

19 診療所

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：8施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 66のとおり

現状と課題	診療所は、民間による立地が望めない地域に補完的に配置されており、将来の医師不足、建物の老朽化、同一地域内の複数立地、近隣に民間診療所が立地するなど課題を有しています。 第1期計画期間において、虫亀診療所は利用状況を考慮し、山古志診療所へ集約化（廃止）を進めています。
今後の方針	診療所は、地域医療維持のため、原則として、今後も機能を維持します。ただし、維持・存続の形態については、施設の集約化、民間委託等を検討します。 また、利用状況に応じて開館日・開館時間を見直します。
取組内容	ア 廃止し、除却を検討する施設 虫亀診療所 イ 開館日の削減を検討する施設 山古志歯科診療所

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	中越こども急患センター	1977	-	有り (補強)	0	0	1,284	↗	293	4	▲19,413	維持			延床面積は「さいわいプラザ」に含む。
山古志	山古志歯科診療所	1984	159	有り	1,794	1,659	1,281	↘	234	5	▲3,934	維持	利用者状況を考慮し、診療日を週5日から4日に削減します。	R8	
山古志	山古志診療所	1984	159	有り	2,575	1,659	1,738	→	120	14	▲11,374	維持			
山古志	種芋原診療所	2005	178	有り	1,345	898	-	-	-	-	-	維持			
山古志	虫亀診療所	1973	279		1,529	1,108	-	-	-	-	-	廃止・除却	老朽化の状況を踏まえ、機能を廃止後、建物の除却を進めます。	R8～	
小国	小国歯科診療所	2005	195	有り	6,145	6,196	6,652	↗	269	25	▲9,457	維持			
小国	小国診療所	1989	2,588	有り	21,047	11,129	4,490	↘	146	31	3,233	維持			
寺泊	国民健康保険寺泊診療所	2000	431	有り	2,737	1,908	3,308	↗	213	16	▲9,969	維持			

20 保健センター

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：5施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 68のとおり

現状と課題	保健センターは、おおむね支所ごとに配置されており、周辺地域の保健業務を担っています。利用者の減少や近隣地域の複数立地など課題を有しています。
今後の方針	保健センターは、市内の保健業務を担っているため、原則として、機能を維持します。 ただし、すでに保健センターとして利用されていない施設は、廃止又は除却に向けて検討します。
取組内容	ア 廃止し、除却を進める施設 与板保健センター

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要建築物	延床面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」	一日当たり利用者 [人]	利用者一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の方向性	内容	実施時期	
長岡	健康センター	1977	-	有り (補強)	29,636	18,230	2,594	↘	297	9	▲18	維持			延床面積は「さいわいプラザ」に含む。
越路	越路保健センター	1996	1,422	有り	5,724	5,404	3,087	↘	311	10	1,265	維持			
三島	三島保健センター	1988	501	有り	4,228	4,110	0	↘	249	0	-	維持			
和島	和島保健センター	1994	446	有り	5,049	3,674	5,053	↗	244	21	277	維持			
与板	与板保健センター	1974	708		1,271	1,664	-	-	-	-	-	除却	すでに使用していない保健センターの機能を廃止し、建物を除却します。	R10 ～	

21 体育館

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：22施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 70～P. 71のとおり

現状と課題	本市では、スポーツを通じた全ての市民の健康で充実した生活と、スポーツによるまちづくりの実現を目指して、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することとしています。 スポーツは、健康づくりやコミュニティスポーツといった身近なものから、競技スポーツやプロスポーツといった様々な利用者のニーズを考慮した施設の管理運営をバランス良く行う必要があります。その一方で、建物の老朽化、人口減少や市民ニーズの変化による利用者の減少、旧市町村地域の複数立地などの課題を有しています。 また、合併以降、地域間で異なっている使用料の減免基準を全市統一した基準で見直す必要があります。併せて、施設の管理運営に係る経費については、受益者負担の原則に従い、利用者から適正な使用料を負担していただく必要があります。
今後の方針	限りある財源の中で持続可能なスポーツ施設環境の構築を図る観点から、ソフト（競技種目や志向、対象年代）とハード（施設の状況）両面からスポーツを取り巻く要素を洗い出し、地域ごとの分布を踏まえた上で検討します。 著しく利用率が低い体育館、老朽化により安全に利用できなくなった体育施設の廃止や機能の縮小を検討します。 また、適切な施設管理を行うために開館日・開館時間を見直すとともに、施設使用料の見直しによって適正な受益者負担を図ります。
取組内容	ア 今後の方向性・あり方を検討する施設 三島体育センター、新産体育館、越路体育館、和島体育館 イ 開館日を見直す施設 全スポーツ施設で、月2回の休館日を原則とする方向で検討 ウ 管理水準を見直す施設 小国勤労者体育センター、和島体育館、寺泊スポーツセンター、吉水体育館

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	市民体育館	1989	9,490	有り	240,292	244,852	237,888	↘	345	690	196	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
長岡	北部体育館	1984	3,540	有り	97,612	116,254	115,612	→	350	330	250	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
長岡	南部体育館	1992	5,036	有り	113,559	123,660	103,976	↘	350	297	279	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
長岡	新産体育館	1986	1,030	有り	22,050	19,762	18,666	↘	349	53	754	あり方の検討	利用状況と施設の老朽化を考慮し、施設のあり方を検討します。	R8～	
中之島	中之島体育館	2011	2,880	有り	73,789	92,612	80,604	→	349	231	372	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
中之島	中之島北体育館	1997	1,804	有り	21,102	22,221	16,880	↘	341	50	541	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
越路	塚山地域体育センター	1987	1,027	有り	2,980	2,397	3,439	↗	358	10	585	維持			
越路	越路中野島地域体育センター	1985	736	有り	7,160	4,712	6,290	→	358	18	312	維持			
越路	石津トレーニングセンター	1984	706	有り	4,120	2,583	1,839	↘	358	5	391	維持			
越路	越路体育館	1979	2,627	なし	29,841	41,645	42,210	↗	344	123	393	あり方の検討	・ 築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。 ・ 適切な施設管理のため、毎月定例の休館日を設けます。	・ R8 ～ ・ R9	
越路	浦体育館	1992	1,288	有り	22,014	24,092	25,420	↗	344	74	351	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
越路	塚山南部地域体育センター	1982	1,253	有り	4,684	5,116	6,652	↗	358	19	329	維持			
三島	みしま体育館	1993	4,938	有り	119,308	124,847	106,207	↘	350	303	268	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	
三島	三島体育センター	1969	2,027		19,424	17,497	11,357	↘	359	32	787	あり方の検討	利用状況と施設の老朽化を考慮し、施設のあり方を検討します。	R8～	
山古志	山古志体育館	1997	-	有り	15,696	16,722	12,572	↘	343	37	1,096	維持	施設メンテナンスを強化するため、定例休館日を見直します。	R9	延床面積は「やまこしコミュニティセンター」に含む。
小国	小国勤労者体育センター	1987	861	有り	5,231	3,185	3,224	→	357	9	297	維持	適切な施設管理のため、毎月定例の休館日を設けます。また、電子鍵（スマートロック）機能を活用し、管理運営費の削減を図ります。	R9～ R11	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				開館日 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
和島	和島体育館	1978	2,001	なし	22,650	23,502	14,360	↘	360	40	367	あり方の検討	・ 築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。 ・ 適切な施設管理のため、毎月定例の休館日を設けます。また、電子鍵（スマートロック）機能を活用し、施設の無人化によって管理運営費の削減を図ります。	・ R8 ～ ・ R9 ～ R11	
寺泊	寺泊スポーツセンター	1981	1,586	なし	10,072	4,993	7,062	→	259	27	97	維持	・ 適切な施設管理のため、毎月定例の休館日を設けます。また、電子鍵（スマートロック）機能を活用し、施設の無人化によって管理運営費の削減を図ります。	・ R8 ～ ・ R9 ～ R11	
栃尾	栃尾体育館	1981	8,766	有り (補強)	109,393	96,527	67,965	↘	308	221	401	維持			
栃尾	吉水体育館	1982	902	有り	8,368	9,916	5,020	↘	308	16	1,350	維持	電子鍵（スマートロック）機能を活用し、施設の無人化によって管理運営費の削減を図ります。	R11	
与板	与板体育館	1979	3,149		36,888	32,913	26,170	↘	357	73	440	維持	適切な施設管理のため、毎月定例の休館日を設けます。	R9	
川口	川口運動公園体育館	2007	－		1,791	2,254	862	↘	270	3	－	維持	利用者数や管理運営費の状況を考慮し、川口地域のスポーツ施設のあり方や他の公共施設との連携を踏まえながら、有効活用の方法を検討します。	R8～	利用者一人当たり維持管理費及び延床面積は「川口運動公園」に含む。

22 その他スポーツ施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：30施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 73～P. 75のとおり

現状と課題	その他のスポーツ施設のうち、運動広場・運動公園については、単一の競技だけでなく、野球やサッカーなど複数の競技で利用可能な施設です。また、野球場やテニス場については、運動広場・運動公園内の施設を含めると、ほとんどの地域に立地しています。 その他のスポーツ施設については、そのほかにも利用者数の減少、建物等の老朽化、洪水被害で安定的な利用ができない施設があるなどの課題があります。また、廃止後にも適切な管理を行わないと、周辺環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。 また、合併以降、地域間で異なっている使用料の減免基準を全市統一した基準で見直す必要があります。併せて、施設の管理運営に係る経費については、受益者負担の原則に従い、利用者から適正な使用料を負担していただく必要があります。 なお、第1期計画期間においては、市営スキー場サマーボブスレーや悠久山プール、中之島テニス場などを廃止しました。
今後の方針	限りある財源の中で持続可能なスポーツ施設環境の構築を図る観点から、ソフト（競技種目や志向、対象年代）とハード（施設の状況）両面からスポーツを取り巻く要素を洗い出し、地域ごとの分布を踏まえた上で検討します。 著しく利用率が低いスポーツ施設、老朽化により安全に利用できなくなったスポーツ施設の廃止や機能の縮小を検討します。スキー場は、少雪による営業日数の減少などの理由から、今後のあり方を検討します。 また、適切な施設管理を行うために開館日・開館時間を見直すとともに、施設使用料の見直しによって適正な受益者負担を図ります。
取組内容	ア 廃止する施設 信濃川河川公園、三島運動広場（ゲートボール場）、山古志運動広場、信濃リバーサイドパーク（ゲートボール場、炊飯場）、ナイター施設（大河津地区運動広場ほか） イ 開館日を見直す施設 全スポーツ施設で、月2回の休館日を原則とする方向で検討 ウ 今後の方向性・あり方を検討する施設 希望が丘プール、市営陸上競技場、悠久山野球場、市営スキー場（長岡市営、古志高原、栃尾ファミリー）、寺泊海浜公園 エ 管理・運営体制を見直す施設 越路B&G海洋センター、和島B&G海洋センター オ ネーミングライツの導入を検討する施設 悠久山野球場、ニュータウン運動公園

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				〔開 館日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	希望が丘プール	1980	596		24,241	21,463	19,394	↘	64	303	688	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を 検討します。	R8～	
長岡	乙吉運動広場	-	-		5,491	4,948	2,719	↘	212	13	2,218	廃止済			令和7年3月31日廃 止
長岡	信濃川河川公園	1994	-	有り	21,595	11,797	5,465	↘	195	28	6,525	廃止の 検討	度重なる洪水被害を受ける立地条件であ ることから、長岡ニュータウン運動公園 へ機能移転し、施設の廃止を検討しま す。	R8～	信濃川南部運動公 園、信濃川右岸河 川公園、スポーツ 広場、第2スポー ツ広場、北部運動 公園、前島スポー ツ広場を含む。
長岡	ニュータウン運動 公園	2012	2,867	有り	98,739	94,840	82,423	↘	357	231	494	維持	・令和10年度供用を目標とする野球場の 完成をもって整備完了予定。それにあわ せて河川敷運動施設の廃止を検討しま す。 ・施設を有効活用して財源確保を図るた め、ネーミングライツを導入することを 検討します。	・R10 ・R8 ～	
長岡	市営陸上競技場	1980	1,805		69,001	78,982	67,937	↘	357	190	378	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を 検討します。	R8～	
長岡	悠久山野球場	1967	3,266		59,582	48,167	39,053	↘	211	185	456	あり方 の検討	・築50年を経過するため、建物のあり方 を検討します。 ・ネーミングライツを導入し、施設を有 効活用して財源確保を図ります。	R8～	
長岡	市営東山テニス場	-	-		3,187	2,996	2,248	↘	212	11	-	維持			利用者一人当たり 維持管理費は「東 山ファミリーランド」に含 む。
長岡	希望が丘テニス場	1991	384	有り	57,554	50,991	43,741	↘	357	123	224	維持			
長岡	市営スキー場	1986	1,053	有り	50,880	9,310	27,480	→	35	785	1,727	あり方 の検討	小雪による営業日数の減少、市民ニーズ の変化を踏まえ、市内3スキー場の今後 のあり方を検討します。	R8～	
中之 島	中之島野球場	-	-		3,264	3,162	1,788	↘	233	8	1,334	機能縮 小の検 討	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイ ター機能の廃止を検討します。あわせて 開館時間の見直しを検討します。	R8～ 12	
中之 島	信濃リバーサイド パーク	1997	26	有り	1,237	1,337	482	↘	233	2	-	一部廃 止の検 討	利用者数が減少している信濃リバーサイ ドパーク野外活動施設ゲートボール場 （4面）及び野外炊飯施設について、現 在の指定管理期間終了に合わせて廃止の 検討をします。	R11	利用者一人当たり 維持管理費は「中 之島北体育館」に 含む。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
越路	越路B & G 海洋セ ンター	1987	1,014	有り	5,881	4,313	4,318	→	49	88	1,282	維持	学校授業での利用が増加する見込みである ことを考慮し、管理・運営体制の見直し を検討します。	未定	
越路	長谷川運動公園	1985	115	有り	4,319	4,325	3,768	↘	244	15	55	維持			
越路	越路河川公園	1985	176	有り	38,372	34,328	36,170	→	244	148	409	維持			
越路	成出運動広場	1983	137	有り	13,566	5,861	5,907	→	244	24	140	機能縮 小の検 討	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイ ター機能の廃止を検討します。あわせて 開館時間の見直しを検討します。	R8～	
三島	三島運動広場	1989	123	有り	4,474	2,248	1,218	↘	243	5	200	一部廃 止・縮 小の検 討	利用者数が減少しているゲートボール場 の廃止を検討します。また、利用状況や 設備の安全性を踏まえ、ナイター機能の 廃止を検討します。あわせて開館時間の 見直しを検討します。	R8～	
三島	三島野球場	1988	34	有り	3,600	1,079	1,108	→	243	5	2,928	機能縮 小の検 討	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイ ター機能の廃止を検討します。あわせて 開館時間の見直しを検討します。	R8～ 12	
山古志	山古志運動広場	1985	169	有り	3,500	500	－	－	－	－	－	廃止の 検討	運動公園としての専用利用がないため、 廃止を検討します。	R8～	
山古志	古志高原スキー場	1989	513	有り	13,140	3,350	16,960	↗	65	261	1,038	あり方 の検討	小雪による営業日数の減少、市民ニーズ の変化を踏まえ、市内3スキー場の今後 のあり方を検討します。	R8～	
小国	おぐに運動公園	1984	317		7,652	4,034	3,359	↘	184	18	1,456	機能縮 小	老朽化により安全性確保が困難なため、 野球場及びテニスコートのナイター機能 を廃止します。	R10	
和島	和島B & G 海洋セ ンター	1983	125	有り	4,514	2,335	2,263	↘	65	35	2,123	維持	学校授業での利用が増加する見込みで あることを考慮し、管理・運営体制の見 直しを検討します。	未定	
和島	和島野球場	1982	238	有り	3,221	1,985	1,628	↘	244	6	2,084	機能縮 小の検 討	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイ ター機能の廃止を検討します。あわせて 開館時間の見直しを検討します。	R8～ 12	
寺泊	寺泊海浜公園	1978	11	有り	12,613	16,882	22,207	↗	258	86	552	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方 を検討します。	R8～	
寺泊	大河津地区運動広 場	－	－		1,376	1,351	2,575	↗	101	25	338	機能縮 小	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイ ター機能の廃止を検討します。あわせて 開館時間の見直しを検討します。	R10	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
栃尾	塩谷運動広場	1982	17	有り	380	260	10	↓	213	0	30,650	廃止済			令和7年3月31日廃止
栃尾	吉水運動広場	2010	47	有り	3,549	2,840	3,929	↑	213	18	914	維持			
栃尾	栃尾テニス場	1999	50	有り	2,538	2,841	2,010	↓	213	9	252	維持			
栃尾	とちおファミリースキー場	1995	416	有り	9,345	0	16,785	↑	278	60	1,715	あり方の検討	小雪による営業日数の減少、市民ニーズの変化を踏まえ、市内3スキー場の今後のあり方を検討します。	R8～	
与板	与板スポーツ広場	-	-		6,134	4,879	4,043	↓	244	17	621	維持			
川口	川口運動公園	2007	1,915		11,900	6,452	3,359	↓	244	14	5,108	機能縮小の検討	利用状況や設備の安全性を踏まえ、ナイター機能の廃止を検討します。あわせて開館時間の見直しを検討します。	R10	
川口	川口屋内ゲートボール場	1995	1,100	有り	1,032	1,562	513	↓	357	1	-	維持			利用者一人当たり維持管理費は「川口運動公園」に含む。

23 図書館

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：8施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.77のとおり

現状と課題	図書館は、利用者の減少、同一地域内の複数立地、建物の老朽化など課題を有しています。 なお、第1期計画期間においては、利用状況等に基づき、寺泊地域図書館大河津地区図書館の廃止、西地域・南地域・北地域・中之島地域・寺泊地域・栃尾地域図書館の開館時間の見直しを行いました。
今後の方針	図書館は、市民の知の拠点として今後も機能を維持します。 ただし、図書館サービスを維持した上で、引き続き利用状況等に応じて開館日と開館時間の見直しを行います。
取組内容	ア 開館日・開館時間を見直す施設 中央図書館、西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館、中之島地域図書館、寺泊地域図書館、栃尾地域図書館、歴史文書館

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築建 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	中央図書館	1987	5,030	有り	198,991	190,118	141,368	↘	285	496	355	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	
長岡	西地域図書館	1995	781	有り	69,744	71,224	65,085	↘	296	220	367	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	
長岡	南地域図書館	1998	809	有り	48,959	43,195	38,522	↘	296	130	627	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	
長岡	北地域図書館	2000	820	有り	53,732	50,433	44,783	↘	296	151	701	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	
長岡	歴史文書館	1978	1,562	有り	-	-	2,444	-	251	10	2,910	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	
中之島	中之島地域図書館	1995	-	有り	14,830	14,143	11,654	↘	293	40	856	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	延床面積は「中之島文化センター」に含む。
寺泊	寺泊地域図書館	1995	-	有り	6,103	6,025	4,210	↘	292	14	2,375	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	延床面積は「寺泊文化センター」に含む。
栃尾	栃尾地域図書館	2022	-	有り	16,734	15,590	14,729	↘	294	50	681	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R10	延床面積は「栃尾地域交流拠点施設」に含む。

24 劇場・ホール

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：4施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.79のとおり

現状と課題	劇場・ホールは、音楽や舞台公演を鑑賞する場であるとともに、市民の活動の発表の場でもあり、文化芸術の振興に不可欠な施設であります。 現在、利用者の減少、市内の複数立地、建物の老朽化など課題を有しています。
今後の方針	劇場・ホールは、今後も機能を維持しますが、市内に複数の劇場・ホールが立地しているため、利用状況に応じて開館日・開館時間等を見直し、管理運営経費の削減を図ります。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	リリックホール	1996	9,849	有り	156,027	140,776	120,191	↘	341	352	1,814	維持			
長岡	市立劇場	1973	7,684	有り (補強)	180,768	148,696	121,935	↘	341	358	827	維持			
中之島	中之島文化センター	1995	3,456	有り	28,713	31,016	34,373	↗	312	110	1,166	維持			
寺泊	寺泊文化センター	1995	3,572	有り	25,895	19,917	37,156	↗	359	103	1,029	維持			

25 博物館等

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：35施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 81～P. 83のとおり

現状と課題	博物館等は、利用者の減少や市内に同様な施設が複数立地、各地域の歴史的資料の保管方法などに課題があります。
今後の方針	博物館等は、施設利用者数が減少傾向にあるため、利用状況に応じて施設の集約化・複合化を進め、開館日・開館時間や管理水準の見直しによって管理運営経費の削減を図ります。また、集約化等の結果、不要となる施設を廃止し、除却を進めます。
取組内容	ア 廃止又は除却を進める施設 如是蔵博物館(櫛心軒)、紙の美術博物館、小国民俗資料館(収納庫)、農林業資料館 イ 冬季閉鎖、開館時間の短縮を検討する施設 郷土史料館、地域資料館 ウ 集約化を検討する施設 長岡震災アーカイブセンター、川口きずな館、市内収蔵庫 エ 今後のあり方を検討する施設 郷土史料館、如是蔵博物館、長谷川邸、寺泊民俗資料館、楽山苑 オ 開館日・開館時間を見直す施設 美術センター、栃尾美術館 カ 管理運営方法・体制を見直す施設 大竹邸記念館、トキと自然の学習館

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	科学博物館	1977	－	有り (補強)	32,560	28,335	24,589	↘	336	73	39	維持			延床面積は「さいわい プラザ」に含む。
長岡	郷土史料館	1967	1,022		11,478	11,283	7,938	↘	304	26	331	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり 方を検討します。	R8～	
長岡	藤橋歴史の広場	1990	436	有り	14,188	10,993	6,808	↘	209	33	520	維持			国指定文化財
長岡	如是蔵博物館	1936	394		－	57	610	－	255	2	2,143	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり 方を検討します。また、一部建物(樺 心軒)の除却を検討します。	R8～	
長岡	馬高縄文館	2009	1,171	有り	6,402	8,021	7,667	→	304	10	1,234	維持			国指定文化財
長岡	北越戊辰戦争伝 承館	2012	291	有り	3,000	3,347	2,308	↘	191	12	1,054	維持			
長岡	埋蔵文化財収蔵 センター	1988	3,140	有り	－	571	0	－	0	－	－	維持			
長岡	悠久山小動物園	1992	694	有り	75,555	55,615	25,706	↘	337	76	292	維持			
長岡	長岡戦災資料館	借用 施設	352	不明	20,287	14,492	13,553	↘	312	43	834	維持			令和8年5月中に旧互尊 文庫を改修した建物へ 移転予定。
長岡	長岡震災アーカ イブセンター	2011	687	有り	18,052	12,488	16,237	→	246	66	348	集約化 (売 却・貸 付等の 検討)	震災に関する見学施設はおらたるへ 集約し、現在の施設は用途廃止し て、売却・貸付など民間活用を検討 します。その他の機能は移転先(検 討中)で維持していきます。	R7	
長岡	美術センター	1987	－	有り	22,942	26,727	15,696	↘	285	55	－	維持	開館日・開館時間の見直しを中央図 書館に準じて検討します。		延床面積は「中央図書 館」に含む。
中之 島	入澤記念庭園	1993	74	有り	－	－	－	－	209	0	－	維持			長岡市指定文化財
中之 島	大竹邸記念館	1979	295	有り (補強)	1,361	436	176	↘	36	5	20,877	維持	利用状況や管理運営費の状況を踏ま え、管理運営方法の最適化を検討し ます。	R8	長岡市指定文化財
越路	越路郷土資料館	1985	1,400	有り	423	282	76	↘	199	0	14,166	維持			
越路	長谷川邸	1716	1,273		4,081	3,173	2,151	↘	275	8	6,218	あり方 の検討	築50年を経過しますが、国有形文化 財の建造物として指定されているこ とを踏まえ、管理や公開方法などを 検討します。	R8～	国指定文化財
三島	吉崎民俗資料格 納庫	2000	185	有り	－	－	－	－	－	－	－	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当た り管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
三島	三島郷土資料館	1993	－	有り	451	336	216	↘	309	1	▲84	維持			延床面積は「みしま会館」に含む。
山古志	やまこし復興交流館おらたる	1984	1,052	有り	34,510	39,076	18,018	↘	306	59	62	維持	市内で一本化された震災に関する見学施設として、機能の存続を図ります。	R8	
小国	小国民俗資料館	1989	1,538	有り	457	162	74	↘	209	0	80,086	一部除却	老朽化の状況を踏まえ、収納庫部分を除却します。	R8	
小国	紙の美術博物館	1995	1,185	有り	2,127	1,536	－	－	－	－	－	廃止・除却	令和4年度実施のサウンディング調査結果及び老朽化の状況を踏まえ、施設の用途を廃止し、建物を除却します。	R12	
和島	島崎収蔵庫	1999	50	有り	－	－	－	－	－	－	－	維持			
和島	和島収蔵庫	2013	197	有り	－	－	－	－	－	－	－	維持			
和島	菊盛記念美術館	1993	350		－	－	－	－	－	－	－	維持			
和島	住雲園	不明	157		2,590	1,590	1,000	↘	359	3	1,627	維持			
寺泊	寺泊水族博物館	1983	2,009	有り	115,553	110,587	108,124	↘	363	298	▲13	維持			
寺泊	寺泊民俗資料館	1978	935	有り (補強)	67	30,822	16,006	→	307	52	2	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
寺泊	トキと自然の学習館	1978	969	有り (補強)	2,244	30,822	16,006	→	307	52	309	維持	太陽光発電設備の導入により、電気代の削減を図ります。	R8	
寺泊	トキ分散飼育センター	2011	660		－	－	－	－	－	－	－	維持			
寺泊	聚感園	2004	9	有り	6,220	5,330	6,396	↗	365	18	209	維持			長岡市指定文化財
栃尾	農林業資料館	1981	288		－	－	－	－	－	－	－	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却します。	R12	
栃尾	栃尾美術館	1995	1,437	有り	16,700	14,967	14,891	↘	253	59	446	維持	利用状況に応じて開館日・開館時間の見直しを検討します。	R8	
与板	与板歴史民俗資料館	1985	623	有り	3,114	2,299	1,310	↘	313	4	2,323	維持			
与板	楽山苑	1892	214		8,630	5,497	12,609	↗	358	35	368	あり方の検討	園内の一部建物は、築50年を経過しますが、市名勝として指定されていることを踏まえ、管理や公開方法などを検討します。	R8～	長岡市指定文化財
川口	中山文化財倉庫	不明	74	なし	－	－	－	－	－	－	－	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当た り管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
川口	川口きずな館	1989	237		11,393	7,220	4,404	↓	310	14	399	集約化 (用途 の廃 止)	震災に関する見学施設はおらたるへ集約し、現在の施設は用途廃止します。その他の機能は移転先（検討中）で維持していきます。	R7	

26 観光施設（自然体験型）

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：15施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 85のとおり

現状と課題	観光施設（自然体験型）は、趣味・趣向の多様化などにより、利用者が減少しており、また、同様の施設（キャンプ場等）が市内に複数立地するなど、課題を有しています。 第1期計画では、道院自然ふれあいの森（レストラン）、杜々の森名水公園（望岳庵・キャンプ場）、おぐに森林公園（プール）を廃止し、自然休養地四季の里古志の宿泊事業、道院自然ふれあいの森のグレスデンスキー場事業、杜々の森名水公園の飲食事業を縮小しました。
今後の方針	各地域の観光施設（自然体験型）を利用した観光コンテンツの造成などにより、長岡の強みを活かした取組みを進めるとともに、旅行者のニーズを踏まえて、「選択と集中」の観点から効果的な投資を行っていきます。 観光施設（自然体験型）が与えている人流や、地域経済、周辺地域への影響を踏まえ、利用実態や採算性、施設の老朽化状況等も勘案して今後のあり方を検討します。既に利用していない施設で、今後の活用が見込めないものについては、除却を進めます。
取組内容	ア 廃止する施設 東山ファミリーランド（キャンプ場）、八方台いこいの森 イ 今後の方向性・あり方を検討する施設 榊形山自然公園、巴ヶ丘自然公園、自然休養地四季の里古志、おぐに森林公園、うまみち森林公園 ウ 開館日・開館時間の見直しを検討する施設 道院自然ふれあいの森

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日 」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	東山ファミリーランド	1980	83		39,524	17,122	3,990	↓	212	19	3,126	一部廃止の検討	利用者数の減少と施設の老朽化を考慮し、キャンプ場の廃止を検討します。	R11	
長岡	八方台いこいの森	1972	261		5,010	2,390	1,470	↓	194	8	2,915	廃止の検討	令和8年度から指定管理から直営管理に変更し、管理費削減を図ります。また、利用者数の増加が見込めない場合は、施設の廃止を検討します。	R8～	
越路	巴ヶ丘自然公園	1997	38	有り	601	1,290	1,035	→	244	4	2,342	あり方の検討	現在の指定管理委託期間満了までに運営状況を踏まえ、施設のあり方を検討します。	R8～	
越路	榊形山自然公園	1986	103	有り	679	338	78	↓	244	0	15,335	あり方の検討	令和7年度から直営管理体制に変更。運営状況を踏まえ、今後の施設のあり方を検討します。	R8～	
越路	もみじ園	1896	416	有り	63,430	94,571	58,912	↓	209	282	149	維持			国登録有形文化財
山古志	自然休養地四季の里古志	1993	1,610	有り	7,712	4,927	5,100	→	311	16	3,458	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	
小国	おぐに森林公園	1978	585		14,319	21,064	10,475	↓	209	50	3,757	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
小国	自然休養体験施設「養楽館」	1996	829	有り	30,692	33,117	26,009	↓	312	83	0	維持			
和島	和島オートキャンプ場	1995	422	有り	22,205	22,919	21,764	↓	251	87	65	維持			
栃尾	とちおふるさと交流広場	1995	-	有り	13,636	11,480	-	-	-	-	-	維持			利用者一人当たり維持管理費及び延床面積は「とちおファミリースキー場」に含む。
栃尾	道院自然ふれあいの森	1996	1,419	有り	6,411	4,833	4,731	↓	81	58	1,890	維持	利用状況や採算性を考慮し、開館日や開館時間の見直しを検討します。	R12	
栃尾	杜々の森名水公園	1991	1,049	有り	14,159	11,070	21,015	↗	191	110	488	維持			
与板	うまみち森林公園	1980	270		3,268	3,452	2,847	↓	199	14	1,942	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、今後のあり方を検討します。	R8～	
川口	オートキャンプ場	1989	163		-	1,429	578	-	270	2	-	維持			利用者一人当たり維持管理費は「川口運動公園」に含む。
川口	高原キャンプ場	1989	27		-	125	7	-	270	0	-	維持			利用者一人当たり維持管理費は「川口運動公園」に含む。

27 観光施設（施設型）

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：15施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 87のとおり

現状と課題	観光施設（施設型）は、趣味・趣向の多様化などにより、おおよそ半数の施設で利用者が減少しています。また、建物やその設備の老朽化など、課題を有しています。 第1期計画では、利用状況や施設の老朽化を考慮し、道の駅良寛の里わしま（美術館ゾーン菊盛記念美術館）を休止し、小国商工物産館を廃止しました。
今後の方針	各地域の観光施設（施設型）を利用した観光コンテンツの造成などにより、長岡の強みを活かした取組みを進めるため、旅行者のニーズを踏まえて、「選択と集中」の観点から効果的な投資を行っていきます。 施設の最適な整備・保存・活用を図るため、PPPやPFIなど官民連携による民間活力の導入を検討します。また、観光施設（施設型）の活用による関係・交流人口の増減や地域経済、周辺地域への影響を勘案したうえで、利用状況に応じて開館日・開館時間を見直し、管理運営費を削減します。
取組内容	ア 今後のあり方を検討する施設 秋山孝ポスター美術館長岡 イ 開館日・開館時間の見直しを検討する施設 塚山活性化センター ウ 民間との連携、民間サービス等の活用を検討する施設 旧機那サフラン酒製造本舗、えちご川口温泉 古民家、コテージ

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開館日」 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり管理運 営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾 向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	秋山孝ポスター美術館長岡	1925	203	有り	-	-	8,353	-	306	27	1,521	あり方の検討	築50年を経過しますが、国登録文化財として登録されていることを踏まえ、管理や公開方法などを検討します。	R8～	国登録有形文化財
長岡	秋山孝ポスター美術館長岡・蔵	2013	98	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持	現状、作品の収蔵庫として利用しているが、JR宮内駅前という好立地であることから、今後観光施設として活用を検討していきます。	R8～	
長岡	河井継之助記念館	1980	442		14,129	12,393	11,277	↓	306	37	397	維持			
長岡	旧機那サフラン酒製造本舗	1894	2,376	一部有り	1,223	4,556	42,753	↑	306	140	643	維持	PFIなど官民連携による民間活力の導入による柔軟な施設の整備・保存・活用を検討します。 現状、整備済みエリア及び未整備エリアに分かれています。整備済みエリアは通年公開しているが、民間活力導入は、施設全体を対象に検討します。	未定	・令和6年度の利用者数は整備済み建物・米蔵の入込者数を基に算出。 ・国登録有形文化財
長岡	道の駅ながおか花火館	2020	3,312		-	-	1,076,645	-	365	2,950	54	維持			
越路	塚山活性化センター	2002	434	有り	11,257	5,307	3,508	↓	306	11	519	維持	利用状況や採算性を考慮し、開館日や開館時間の見直しを検討します。	R12	
和島	道の駅良寛の里わしま（地域交流ゾーン）	2004	296	有り	267,096	278,746	312,580	↑	350	893	65	維持			
和島	道の駅良寛の里わしま（美術館ゾーン）	1990	1,922	有り	41,035	38,624	6,807	↓	261	26	1,170	維持			
寺泊	寺泊総合観光案内所	1986	104	有り	4,692	5,222	3,553	↓	352	10	209	維持			令和8年度中に移転予定
栃尾	道の駅ルート290とちお	1999	1,007	有り	484,500	455,200	536,200	↑	362	1,481	2	維持			
川口	えちご川口温泉	2005	5,396	有り	152,568	113,626	125,527	→	349	360	620	維持			
川口	えちご川口温泉（コテージ）	1993	155	有り	547	348	232	↓	275	1	196	維持	民間事業者の創意と資金を活かした有効活用を検討します。	未定	
川口	えちご川口温泉（古民家）	2002	570	有り	1,345	846	709	↓	365	2	125	維持	民間事業者の創意と資金を活かした有効活用を検討します。	未定	
川口	ホテルサンローラ	2007	3,358	有り	14,869	13,740	8,519	↓	365	23	▲347	維持			
川口	道の駅越後川口	2004	400	有り	156,296	123,648	113,248	↓	326	347	6	維持			

28 宿泊・研修施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：2施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 89のとおり

現状と課題	宿泊・研修施設は、趣味・趣向の多様化などにより、利用者が減少傾向にある施設があります。また、建物やその設備の老朽化など、課題を有しています。 第1期計画では、利用者数が少なく老朽化していた小国法末自然の家を除却しました。
今後の方針	宿泊・研修施設は、建物の老朽化等により、施設利用者数が減少傾向にあることから、利用実態や建物の老朽化状況に応じて、今後のあり方を検討します。
取組内容	ア 今後のあり方を検討する施設 川口体験交流センター

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
寺泊	青少年研修センター	1992	365	有り	2,229	2,013	1,232	↘	39	32	517	維持			
川口	川口体験交流センター	1984	1,298	有り	1,560	814	940	→	305	3	2,622	あり方の検討	利用状況や老朽化の状況等を踏まえ、施設のあり方を検討します。	R8～	

29 産業振興施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：7施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.91のとおり

現状と課題	産業振興施設は、設置当初の目的とかい離したり、もっぱら特定の団体が借り受けて使用していたり、建物が老朽化するなど、課題を有しています。 なお、第1期計画期間において、サンライフ長岡の転用及びふるさと体験農業センターの機能転換、内水面漁業振興施設の売却、職業技能センターの除却を行いました。
今後の方針	産業振興施設は、原則として、今後も機能を維持しますが、設置当初の目的とかい離したり、特定の団体に貸し付けている施設等は、機能を廃止し、貸付先への売却を行います。
取組内容	ア 廃止を検討する施設 ものづくり・ロボットスペース イ 周辺施設へ機能を移転する施設 イノベーションスペース ウ 貸付先への売却・譲渡を検討する施設 川口農産物加工所

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	米百俵プレイスミライエ長岡西館 (NaDeC BASE)	2023	-	有り	-	-	8,935	-	335	27	▲202	維持			延床面積、施設管理費等は「米百俵プレイスミライエ長岡西館」に含む。
長岡	イノベーションスペース	1963	-	有り (補強)	-	-	-	-	-	-	-	維持 (移 転)	市街地再開発計画及び施設の老朽化に伴い、周辺施設に機能を移転します。		延床面積は「ながおか市民センター」に含む。
長岡	新産業創造センター	1991	2,699	有り	12	9	13	↗	365	0	18,988	維持			利用者数は入居企業等数
長岡	ものづくり・ロボットスペース	1963	-	有り (補強)	-	-	240	-	-	-	0	移転 (廃 止)	市街地再開発計画及び施設の老朽化に伴い、外部団体が管理する周辺施設に移転し、市の管理外とします。	R8	延床面積、利用者一人当たり維持管理費(歳出)は「ながおか市民センター」に含む。
長岡	職業技能センター	1964	563	なし	-	-	240	-	62	4	9	-	-	-	令和7年度除却予定
長岡	次世代農業推進拠点施設	1991	1,146	有り	-	-	12,858	-	305	42	2,436	維持			
栃尾	栃尾産業交流センター	1998	4,299	有り	106,435	84,244	69,407	↘	309	225	455	維持			
川口	川口農産物加工所	1996	359	有り	780	918	0	↘	305	0	-	売却・譲渡の検討	設置当初の目的での使用は終了しているため、施設の売却、譲渡などの協議・検討を行います。	R8～	

30 公営住宅

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：53施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 93～95のとおり

現状と課題	公営住宅は、長岡市公営住宅等長寿命化計画を策定しており、大規模改修などの工事を計画的に実施していますが、一部の地域や低層住宅では、建物の老朽化や空き室の存在など課題を有しています。 公営住宅は民間に移譲することは考えにくく、今後も既存住宅の長寿命化を図り、法定耐用年数より長く維持保全に努めていく必要があります。 なお、第1期計画期間において、老朽化した西蔵王団地公営住宅の除却を行いました。
今後の方針	公営住宅は、低所得者層向け住宅のセーフティネットとして、今後も機能は維持しますが、建物の老朽化や利用者数を考慮して、総量は増やさずに集約化を検討します。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	昭和団地	1969	11,638	有り	212	206	175	↓	365	-	▲61,652	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	希望が丘団地	1971	12,788	有り	226	229	178	↓	365	-	▲117,041	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	中島団地	1972	2,799	有り (補強)	60	53	50	↓	365	-	▲56,576	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	宮栄団地	1977	9,046	有り	128	119	98	↓	365	-	▲166,241	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	松葉団地	1973	2,667	有り (補強)	52	46	43	↓	365	-	▲73,810	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	川崎団地	1980	6,445	有り	92	90	75	↓	365	-	▲198,415	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	上除団地	1994	17,403	有り	195	195	192	↓	365	-	▲166,398	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	土合団地	1999	1,096	有り	10	12	12	→	365	-	▲232,490	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	長倉団地	2006	3,518	有り	40	37	40	→	365	-	▲198,922	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	千歳団地	2007	6,917	有り	73	73	71	↓	365	-	▲178,038	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	稲葉団地	2009	8,614	有り	101	101	96	↓	365	-	▲129,156	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
長岡	西藏王団地	1951	33		2	2	1	↓	365	-	▲33,093	-	-	-	・令和7年度除却 ・年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
越路	もみじ丘団地	1995	2,651	有り	32	32	30	↓	365	-	▲228,088	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
越路	来迎寺団地	1978	555		10	10	9	↓	365	-	▲118,333	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
越路	こしじハイツ	1970	718	有り (補強)	12	12	8	↓	365	-	▲186,982	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
越路	西谷団地	1985	330	有り	4	4	2	↓	365	-	▲242,929	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	竹沢団地	2006	766	有り	7	6	8	↑	365	-	▲56,386	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	種芋原団地	2006	348	有り	5	4	4	→	365	-	6,219	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	桂谷団地	2006	283	有り	1	1	1	→	365	-	221,178	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
山古志	油夫団地改良住宅	2007	147	有り	2	2	1	↓	365	-	▲70,076	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	檜木団地改良住宅	2007	225	有り	1	2	1	→	365	-	161,655	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	大久保団地改良住宅	2007	399	有り	3	3	2	↓	365	-	▲166,169	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	梶金団地改良住宅	2007	137	有り	1	2	1	→	365	-	▲245,517	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	木籠団地改良住宅	2007	308	有り	3	3	1	↓	365	-	6,330	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	木籠袖団地改良住宅	2007	147	有り	0	0	0	→	365	-	-	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
山古志	中山間地型復興住宅試作棟	2006	234	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	新町第1団地	1981	819	有り	11	8	5	↓	365	-	▲176,633	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	新町第2住宅	1998	522	有り	5	3	2	↓	365	-	▲374,481	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	新町第3団地	1999	481	有り	5	6	4	↓	365	-	▲95,276	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	上岩田団地	2000	638	有り	4	5	3	↓	365	-	94,396	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	七日町団地	2006	384	有り	6	5	6	→	365	-	▲167,098	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
小国	横沢団地	1990	876	有り	15	13	14	→	365	-	64,591	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
寺泊	金山第1団地	1984	627	有り	8	10	6	↓	365	-	▲157,169	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
寺泊	二ノ関団地	1985	463	有り	7	7	6	↓	365	-	▲21,760	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
寺泊	港町団地	1988	648	有り	10	10	9	↓	365	-	▲15,077	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	上の原団地	1975	4,249	有り	64	63	57	↓	365	-	▲80,590	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	ハイツひがし	1993	3,591	有り	35	33	30	↓	365	-	▲187,266	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
栃尾	仲子団地	2006	2,126	有り	20	21	21	→	365	-	▲43,906	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	緑が丘団地	1970	2,332	有り	27	26	21	↓	365	-	▲73,302	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	ドリームハイツあきば	2000	2,634	有り	15	9	3	↓	365	-	▲257,665	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	スマイルハイツにればら	2001	2,148	有り	15	14	8	↓	365	-	▲639,743	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
栃尾	スマイルハイツたいら	2003	2,894	有り	21	15	9	↓	365	-	▲546,806	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
与板	山沢団地	2004	886	有り	15	15	15	→	365	-	▲101,808	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
与板	五軒町団地	1991	1,982	有り	20	24	22	→	365	-	▲49,631	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
与板	安永団地	1977	512		10	8	7	↓	365	-	▲83,775	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	大島団地市営住宅	1996	2,944	有り	28	23	17	↓	365	-	▲241,177	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	和南津団地市営住宅	2006	497	有り	3	3	3	→	365	-	▲188,494	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	牛ヶ島団地市営住宅	2006	1,156	有り	9	8	6	↓	365	-	▲470,635	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	相川団地市営住宅	2006	453	有り	4	2	3	→	365	-	▲102,587	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	田麦山団地市営住宅	2006	495	有り	4	4	3	↓	365	-	▲55,588	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	よしとみ団地市営住宅	2006	1,313	有り	16	16	14	↓	365	-	▲163,324	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	西川口団地市営住宅	2006	3,233	有り	25	23	20	↓	365	-	▲147,204	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	しみず団地市営住宅	2007	3,997	有り	36	39	35	↓	365	-	▲125,514	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数
川口	小高団地市営住宅	2006	532	有り	4	4	3	↓	365	-	▲120,987	維持			年間利用者数は3月31日時点での入居戸数

31 教職員住宅

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：5施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 97のとおり

現状と課題	教職員住宅は、今日において施設の存在意義（教職員の住宅の確保、へき地における住宅不足の緩和、教職員の福利厚生 の充実）は希薄化し、一部の施設は老朽化するなど、課題を有しています。 なお、近年入居者がいない状況が続いていた医師住宅については、第1期計画期間に売却しました。
今後の方針	入居者がおらず、一定の役割を終えた教職員住宅は廃止し、建物の老朽化等の状況に応じて売却又は除却を進めます。
取組内容	ア 廃止し、売却又は除却を進める施設 三島日の出町教職員住宅、小国新町教員住宅、栃尾巻渚教職員住宅 イ 入居者がいなくなった時点で廃止し、売却又は除却を進める施設 寺泊教職員住宅、越路飯塚教職員住宅

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [m ²]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当 たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
越路	越路飯塚教職員住宅	2002	284		2	2	1	↘	365	-	▲34,044	売却・譲渡又は除却	現在の入居者が退去後、利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R12	年間利用者数は入居戸数
三島	三島日の出町教職員住宅	1996	137	有り	0	0	0	→	365	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R9	年間利用者数は入居戸数
小国	小国新町教員住宅	1995	570	有り	3	0	0	→	365	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R9	年間利用者数は入居戸数
寺泊	寺泊教職員住宅	1981	449		4	7	6	→	365	-	▲18,076	売却・譲渡又は除却	現在の入居者が退去後、利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R8	年間利用者数は入居戸数
栃尾	栃尾巻渚教職員住宅	1986	1,028	有り	2	1	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R9	年間利用者数は入居戸数

32 消防庁舎

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：13施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 99のとおり

現状と課題	消防庁舎は、市内全域の消防行政機能を維持するため、市内13か所に施設が配置されていますが、建物の老朽化など課題を有しています。
今後の方針	消防庁舎は、今後も機能を維持しますが、将来の人口動向及び災害出動件数等を考慮して今後のあり方を検討します。
取組内容	ア 継続利用しながら、「今後の方針」及び築年数を踏まえ、必要に応じて見直す施設 新町出張所、与板消防署、小千谷消防署川口出張所 イ 移転後の除却を検討する施設 栃尾消防署

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主 建要 築建 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				「開 館日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	消防本部庁舎	2010	7,383	有り	3,742	4,347	5,174	↗	365	14	10,127	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
長岡	長岡消防署関原出張所	1978	615	有り (補強)	1,515	1,592	1,755	↗	365	5	1,360	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
長岡	長岡消防署宮内出張所	1984	279	有り	148	499	587	↗	365	2	3,710	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
長岡	長岡消防署新町出張所	1981	450	無し	2,325	2,579	2,794	↗	365	8	1,105	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
長岡	長岡消防署川崎出張所	2009	1,160	有り	196	228	271	↗	365	1	12,480	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
中之島	与板消防署中之島出張所	2019	564	有り	345	362	438	↗	365	1	4,413	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
越路	長岡消防署越路出張所	1989	735	有り	883	932	1,077	↗	365	3	3,779	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
山古志	長岡消防署山古志出張所	1988	259	有り	93	107	100	→	365	0	20,011	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
小国	長岡消防署小国出張所	1963	2,883	有り (補強)	295	331	346	↗	365	1	5,474	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
寺泊	与板消防署寺泊出張所	2014	1,016	有り	614	618	540	↘	365	1	6,953	維持			年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
栃尾	栃尾消防署	1969	852	無し	1,061	1,119	1,185	↗	365	3	3,001	除却	建替えに伴う移転により、旧庁舎の除却を進めます。	R9	年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
与板	与板消防署	1976	1,214	有り (補強)	911	936	1,052	↗	365	3	5,858	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	年間利用者数は、暦年の災害出動件数。
川口	小千谷消防署川口出張所	1980	195	有り	210	222	228	↗	365	1	0	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	・年間利用者数は、暦年の災害出動件数。 ・小千谷市に事務委託。

33 ごみ・し尿処理施設（管理庁舎等）

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：2施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.101のとおり

現状と課題	ごみ・し尿処理施設の管理庁舎は、ごみ・し尿処理施設を効率的に管理するため、同一敷地内に設置され、庁舎内に関係部署がまとめて配置されていますが、建物の老朽化など課題を有しています。
今後の方針	ごみ・し尿処理施設（管理庁舎）は、今後の整備にあたり、機能の集約・統合による効率的な施設配置を検討します。
取組内容	ア 今後のあり方を検討する施設 環境衛生センター

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数　[人]				「開 館 日」	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	エコトピア寿	2001	1,777	有り	102,899	104,062	107,685	↗	309	348	512	維持			
長岡	環境衛生センター	1980	1,814	有り	24,000	24,000	24,000	→	213	113	360	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	

34 その他の施設 ①斎場

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：6施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P. 106のとおり

現状と課題	斎場は、6か所（長岡、小国、寺泊、栃尾、与板、川口の各地域に1か所ずつ）設置されており、一部のものは、老朽化が進んでいます。
今後の方針	寺泊斎場及び与板無憂苑斎場は、新斎場の供用開始後に廃止します。
取組内容	ア 新斎場の供用開始後に廃止する施設 寺泊斎場、与板無憂苑斎場

34 その他の施設 ②公営駐車場等

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：7施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.106のとおり

現状と課題	公営駐車場は、良好な交通環境の確保と違法駐車抑制など、総合的な駐車対策の一環として整備されるものですが、本市では、近年民間駐車場の収容可能台数も増加傾向にあり、中心市街地に所在する公営駐車場の経営状況は厳しいものとなっています。 自転車保管庫については、放置自転車等を保管するための倉庫ですが、長岡駅近くに所在するものについては、機能を他所に移管し、土地の有効活用の観点から、第1期計画期間に売却しました。
今後の方針	市営駐車場については、将来の需要予測を基に再編（料金改正、民営化、売却等）することで、経営改善を図ります。また、規模縮小に向けた改修や新たな手法による管理運営方法の導入等を検討し、官民連携による経営改善を図ります。自転車駐車場については、利用者の減少と施設の老朽化の状況に応じて集約化を検討することで、施設の適正化を図ります。
取組内容	ア 再編・規模縮小に向けた今後のあり方を検討する施設 大手口駐車場、表町駐車場、大手通地下駐車場 イ 集約化を検討する施設 長岡駅大手口地下自転車駐車場、長岡駅東口自転車駐車場、長岡駅東口地下自転車駐車場 ウ ネーミングライツ等による利活用を検討する施設 大手口ペデストリアンデッキ

34 その他の施設 ③貸付、未利用、その他施設

(1) 施設分類別の現状と課題、今後の方針等

①該当施設：120施設

②施設の利用者数や管理運営費等：「(2)施設別評価結果と方針一覧」 P.106～P.114のとおり

現状と課題	施設の統廃合等適正化の取組によって未利用施設は年々増加しています。 第1期計画期間においても、貸付施設や未利用施設の売却、老朽化した施設の除却等を進めていますが、売却困難な物件の維持管理、除却予算の確保などの課題に対応する必要があります。
今後の方針	貸付、暫定・未利用施設は、民間への譲渡を優先します。 老朽化等の状況により民間譲渡ができない場合は、最低限の維持管理を行い、施設及びその周辺の安全性の確保ができなくなる前に除却します。 今後は、増加する未利用財産の処分を加速するため、あらたな処分方法の導入を検討します。
取組内容	ア 廃止を検討する施設 長岡市特産品加工所、汐見台倉庫 イ 規模の縮小を検討する施設 長岡市レクリエーション公園 ウ 他の用途に転用する施設 旧悠久山屋内温水プール、旧王寺川保育園、旧白樺保育園、旧福戸保育園、旧下小国小学校、旧西谷小学校 エ 売却・譲渡を検討する施設 旧伝染病院隔離病舎、放置自転車等格納庫、旧ゲストハウス坂井邸、旧桂保育園、旧竹之高地小学校、旧大積小学校、旧デイライフ中条、旧みしま北保育園、旧種芋原保育園、三桶共同車庫、山野田共同車庫、大貝共同車庫、八王子共同車庫、法末共同車庫、旧上小国小学校、旧廃棄物ストックヤード、上岩田下請等共同作業所、旧長岡消防署小国出張所、旧桐島小学校、旧寺泊老人ホーム、旧白岩保育園、旧中野俣小学校、旧栃尾白山保育園、旧下塩小学校、旧半蔵金小学校、旧半蔵金小学校スクールバス車庫、川岸倉庫、庄司内科医院（閉院後） オ 除却する施設 旧勤労青少年ホーム、旧社会福祉センター、旧栃尾保健福祉センター、旧中之島コミュニティセンター信条分室、旧中之島コミュニティセンター中条分室、旧老人憩いの家日枝の里、萱峠展望台、萱峠牧場、休憩舎（池谷）

取組内容

- 旧小国高齢者コミュニティセンター、旧小国芸術村会館、八幡林遺跡用地住宅、旧金山収蔵庫、旧竹森収蔵庫、旧野積小学校プール機械室、社会福祉施設（貸付）、旧栃尾上の原教職員住宅、精神障害者作業所（貸付）、旧デイサービスセンターおおの苑、金町車庫、旧木沢小学校プール機械室
- カ 存続・廃止条件を設定する施設
- 旧寺泊支所車庫、旧消防器具置場（谷内）、旧消防器具置場（木山沢）
- キ 今後のあり方を検討する施設
- 旧ニュータウンいこいの広場、悠久山公園、山本記念公園（山本元帥生家）、水道公園（旧中島浄水場）、長岡駅東西自由通路、旧市営食肉センター、旧老人憩いの家さくらの家、中之島支所倉庫、建設機械車庫（三島）、旧虫亀教職員住宅、旧山古志錦鯉総合センター、旧小国歯科診療所、小国建設資材倉庫、小国支所除雪車格納車庫、旧小国公民館八王子分館、和島支所建設機械車庫、金町書類保管庫、旧半蔵金中学校、旧与板地区公民館黒川分館
- ク 開館時間の短縮を検討する施設
- 緑花センター
- ケ 管理水準を見直す施設
- 旧八方台休暇センター、
- コ P F I の導入を検討する施設
- 千秋が原ふるさとの森
- サ ネーミングライツの導入を検討する施設
- 長岡市民防災公園（ながおか市民防災センター）、山古志闘牛場
- シ 他施設へ集約化し、旧施設を廃止する施設
- 小国支所建設機械車庫

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 要 建 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				開館日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	長岡市斎場	2007	1,921	有り	2,422	2,581	2,816	↗	305	9	32,224	維持			
小国	小国斎場	1979	149		99	107	124	↗	112	1	10,896	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
寺泊	寺泊斎場	1964	151	有り	144	156	133	↘	114	1	8,864	集約化 (除却)	新たに整備する斎場に機能を集約化し、建物を除却します。	R12	
栃尾	長岡市栃尾斎場	2016	1,074		337	333	295	↘	197	1	60,821	維持			
与板	与板無憂苑斎場	1974	176		398	367	369	→	233	2	18,019	集約化 (除却)	新たに整備する斎場に機能を集約化し、建物を除却します。	R12	
川口	川口斎場	1994	451	有り	64	64	70	↗	66	1	21,538	維持			
長岡	表町駐車場	2000	14	有り	49,148	43,558	38,684	↘	365	106	1	民営化 又は売却の検討	民間施設との機能重複を踏まえ、規模を縮小しながら民営化又は売却を検討します。	R8～	
長岡	大手口駐車場	1983	9,056	有り	66,200	60,038	59,415	↘	365	163	27	民営化 又は売却の検討	民間施設との機能重複を踏まえ、規模を縮小しながら民営化又は売却を検討します。	R8～	
長岡	大手通地下駐車場	1997	-		177,410	148,416	96,737	↘	365	265	17	民営化 又は売却の検討	民間施設との機能重複を踏まえ、規模を縮小しながら民営化又は売却を検討します。	R8～	
長岡	長岡駅大手口地下自転車駐車場	2011	1,384	有り	197,712	160,817	87,493	↘	365	240	99	集約化	利用状況や老朽化の状況を踏まえ、隣接する施設へ集約化します。	R8	
長岡	長岡駅東口自転車駐車場	1980	621		105,042	89,017	74,419	↘	365	204	61	集約化	利用状況や老朽化の状況を踏まえ、隣接する施設へ集約化します。	R8	
長岡	長岡駅東口地下自転車駐車場	1994	1,716	有り	197,712	243,541	101,850	↘	365	279	130	集約化	利用状況や老朽化の状況を踏まえ、隣接する施設へ集約化します。	R8	
長岡	放置自転車等格納庫	1993	139	有り	0	0	585	↗	-	-	2	売却・譲渡の検討	他用途への転用を含め、売却・譲渡を検討します。	R8～	年間利用者数は、放置自転車格納台数。
長岡	宮内駅連絡通路	1992	798	有り	-	-	-	-	365	0	-	維持			
長岡	大手口ペデストリアンデッキ	2011	-		-	-	-	-	365	0	-	維持	ネーミングライツ等による施設の利活用を検討します。	未定	
長岡	長岡駅東西自由通路	1981	183		-	-	-	-	365	0	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館 日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	河川防災ステーション（信濃）水防センター	2024	88	有り	-	-	1,089	-	60	18	572	維持			
長岡	浦瀬町倉庫	1991	569	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
長岡	幸町分室	1968	2,524	有り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
長岡	ふそき公園（全天候施設）	2008	1,033	有り	-	-	-	-	365	-	-	維持			
長岡	悠久山公園	1981	488		-	-	-	-	365	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
長岡	山本記念公園（山本元帥生家）	1971	101		-	-	-	-	365	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
長岡	資材倉庫（十日町）	1992	180	有り	-	-	-	-	100	-	-	維持			
長岡	水道公園（旧中島浄水場）	1927	591		-	-	-	-	365	-	-	あり方の検討	公園内の「水道タンク」「長岡市水道局旧中島浄水場ポンプ棟」「長岡市水道局旧中島浄水場監視室棟」「長岡市水道局旧中島浄水場予備発電機室棟」は、築50年を経過しますが、国登録文化財として登録されていることを踏まえ、管理や公開方法などを検討します。	R8～	国登録有形文化財
長岡	雪国植物園（西陵の森）	1995	38	有り	-	-	15,592	-	252	62	914	維持			
長岡	千秋が原ふるさとの森	1994	2,317	有り	-	-	184,660	-	365	506	345	維持	PFIなど官民連携による民間活力の導入による柔軟な施設の整備・保存・活用を検討します。	未定	
長岡	千秋が原南公園（子育ての駅千秋）	2009	-	有り	-	-	-	-	365	-	-	維持			延床面積は「子育ての駅千秋」に含む。
長岡	長岡市民防災公園（ながおか市民防災センター）	2010	-	有り	-	-	-	-	365	-	-	維持	ネーミングライツを導入し、財源確保を図ります。	R8	延床面積は「子育ての駅ながおか市民防災センター」に含む。
長岡	長岡市民防災公園（緑花センター）	2010	1,068	有り	23,678	29,079	24,914	→	308	81	404	維持	利用状況に応じて開館時間を見直します。	未定	
長岡	ながおか市民防災センター	2010	-	有り	482	398	716	↗	198	4	255	維持			延床面積は「子育ての駅ながおか市民防災センター」に含む。
長岡	長岡戦災資料館（予定）	1967	1,601	有り（補強）	-	-	-	-	-	-	-	維持			令和8年5月運用開始予定。

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館 日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
長岡	旧ニュータウンい こいの広場	1984	440	有り	9,354	6,469	-	-	-	-	-	あり方 の検討	施設廃止後、地元コミュニティ組織に 貸付中。今後の施設のあり方を検討し ます。	R9～ 12	
長岡	旧悠久山屋内温水 プール	1995	1,809	有り	39,839	39,088	-	-	-	-	-	転用	屋内多目的運動施設として整備し、令 和8年度供用開始を目標とします。	R8	
長岡	旧中村孝三郎家住 宅	不明	264		-	-	-	-	-	-	-	維持			
長岡	旧八方台休暇セン ター	1962	21		-	-	-	-	-	-	-	維持	利用状況に応じて、施設の管理水準を 見直します。	R8	
長岡	旧ゲストハウス坂 井邸	1982	233	有り	3,585	2,365	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡	第1期計画期間から買受申込を受付中 のため、引き続き売却を進めます。	R8～	
長岡	旧王寺川保育園	1981	299		10	-	-	-	-	-	-	転用の 検討	他の行政用途への転用を検討します。	R8～	
長岡	旧桂保育園	1983	547	有り	18	7	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡又 は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡 又は除却を進めます。	R8～	
長岡	旧竹之高地小学校	1978	935		-	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡又 は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡 又は除却を進めます。	R8～	
長岡	旧白樺保育園	1989	433	有り	-	-	-	-	-	-	-	転用の 検討	他の行政用途への転用を検討します。	R8～	
長岡	旧福戸保育園	1991	408	有り	-	-	-	-	-	-	-	転用の 検討	他の行政用途への転用を検討します。	R8～	
長岡	旧大積小学校	1986	2,892	有り	33	21	18	↓	-	-	316,277	売却・ 譲渡又 は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡 又は除却を進めます。	R8～	
長岡	旧関原コミュニ ティセンター	1984	501	有り	不明	3,784	3,471	-	-	-	155	維持			
長岡	旧勤労青少年ホー ム	1964	732		-	7,624	2,502	-	258	10	879	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却 します。	R9	
長岡	旧六日市保育園	1992	577	有り	9	-	-	-	-	-	-	維持	資料保管施設として維持します。		
長岡	旧市営食肉セン ター	1976	4,252		-	-	-	-	-	-	-	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方 を検討します。	R8～	
長岡	旧社会福祉セン ター	1984	1,805	有り	45,003	5,643	4,103	↓	360	11	880	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却 を進めます。	R9～	
長岡	旧伝染病院隔離病 舎	1997	486	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡	市として利活用の目的がないため、売 却・譲渡を検討します。	R8～ 12	
中之 島	中之島支所倉庫	1971	1,189		715	1,317	240	↓	242	1	1,019	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方 を検討します。	R8～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
中之島	老人憩いの家刈谷田荘	1973	396		2,179	1,709	3,670	↗	365	10	231	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
中之島	旧中之島コミュニティセンター信条分室	1974	111		1,132	1,147	-	-	62	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却します。	R8	
中之島	旧中之島コミュニティセンター中条分室	1980	185		1,085	1,370	550	↘	357	2	316	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却します。	R8	
中之島	旧老人憩いの家さくらの家	1997	232	有り	4,879	3,588	489	↘	305	2	11,331	あり方の検討	老人憩いの家としての機能を廃止しているが、隣接する保育園と建物が一体となっているため、安全性を考慮しながら、最小限の維持管理を行います。	R8～12	
中之島	旧老人憩いの家日枝の里	1971	438	有り	4,112	3,727	918	↘	305	3	6,033	除却	老朽化の状況等を踏まえ、除却を進めます。	R9	
中之島	旧デイライフ中条	1964	282	有り	3,615	4,099	3,945	→	270	15	4	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を検討します。	R8～	令和7年5月31日に障害者福祉施設としての使用を終了。
越路	越路スノーステーション	2001	688	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
越路	旧東谷無線中継所	1991	243	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
三島	三島中央公園	1996	114	有り	-	-	-	-	365	-	-	維持			
三島	大杉公園（大杉会館）	1998	307	有り	7,450	6,876	6,026	↘	210	29	1,259	維持			
三島	建設機械車庫（三島）	1960	174		-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
三島	旧みしま北保育園	1978	835		30	22	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
山古志	山古志闘牛場	2006	136	有り	19,900	22,200	7,000	↘	13	513	230	維持	ネーミングライツを導入し、施設を有効活用して財源確保を図ります。	R8～	
山古志	長岡市特産品加工所	1988	492	有り	-	-	-	-	-	-	-	廃止の検討	利用状況や老朽化等を踏まえ、廃止を検討します。	R8～	
山古志	種芋原除雪機械格納庫	1991	207	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
山古志	池谷除雪車格納庫	2007	613	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
山古志	萱峠展望台	1970	30		-	-	-	-	-	-	-	廃止・ 除却	利用状況及び老朽化の状況を踏まえ、機能を廃止し、除却します。	未定	
山古志	萱峠牧場	1994	139	有り	-	-	-	-	-	-	-	廃止・ 除却	中越地震で被災後、復旧しておらず、すでに機能を失っているため、機能を廃止し、除却します。	未定	
山古志	休憩舎（池谷）	1998	18	有り	-	-	-	-	-	-	-	廃止・ 除却	すでに利用しておらず、立地条件などから今後も利用が見込めないため、機能を廃止し、除却します。	未定	
山古志	旧種芋原教職員住宅	1990	931	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
山古志	旧虫亀教職員住宅	1979	254		-	-	-	-	-	-	-	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
山古志	旧種芋原保育園	1972	295		0	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡又 は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
山古志	旧山古志錦鯉総合センター	1978	32		-	-	-	-	-	-	-	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
小国	上岩田下請等共同作業所	1980	535		-	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡又 は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
小国	横沢下請等共同作業所	1982	807	有り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和6年度売却
小国	小国建設資材倉庫	1958	447		-	-	-	-	-	-	-	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
小国	小国支所建設機械車庫	1952	298		-	-	-	-	-	-	-	集約化 （廃止）・ 除却	格納資材を他施設に移転・集約化し、不要となる建物を除却します。	R8～	
小国	三桶共同車庫	1989	151	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡の 検討	老朽化や当初の目的達成の状況を踏まえ、売却・譲渡を検討します。	R8～ 12	
小国	山野田共同車庫	1990	91	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡の 検討	老朽化や当初の目的達成の状況を踏まえ、売却・譲渡を検討します。	R8～ 12	
小国	小国支所除雪車格納車庫	1978	211		-	-	-	-	-	-	-	あり方 の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				開館日	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
小国	大貝共同車庫	1989	131	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	老朽化や当初の目的達成の状況を踏まえ、売却・譲渡を検討します。	R8～12	
小国	八王子共同車庫	1989	145	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	老朽化や当初の目的達成の状況を踏まえ、売却・譲渡を検討します。	R8～12	
小国	法末共同車庫	1988	204	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	老朽化や当初の目的達成の状況を踏まえ、売却・譲渡を検討します。	R8～12	
小国	旧下小国小学校	1963	-	有り (補強)	58	-	-	-	-	-	-	転用の検討	他の行政用途への転用を検討します。	R8～	延床面積は「長岡消防署小国出張所」に含む。
小国	旧小国歯科診療所	1981	207		-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
小国	旧上小国小学校	1988	4,130	有り	52	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
小国	旧廃棄物ストックヤード	1978	126		-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
小国	旧小国商工物産館	1996	912	有り	2,652	2,026	0	↘	0	-	-	維持			
小国	旧長岡消防署小国出張所	1980	251		12	12	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	現在の貸付状況を踏まえ、施設の売却、譲渡などの協議・検討を行います。	未定	
小国	旧小国高齢者コミュニティセンター	1982	344	有り	530	-	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却を進めます。	R9～	
小国	旧小国芸術村会館	1987	246		912	255	-	-	-	-	-	除却	老朽化しており、今後も利活用が見込めないため、建物を除却します。	R9	
小国	旧小国公民館八王子分館	1971	721		732	180	244	→	365	1	1,651	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
和島	八幡林遺跡用地住宅	2004	29		-	-	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却します。	R12	
和島	和島支所建設機械車庫	1972	99		-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
和島	旧和島幼稚園	1986	1,847	有り	28	18	-	-	-	-	-	維持			
和島	旧桐島小学校	1962	2,540		-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築年物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
寺泊	汐見台倉庫	不明	132		-	-	-	-	-	-	-	廃止の 検討	老朽化し、他施設で代替機能を確保できるため、施設の廃止を検討します。	R8～	
寺泊	旧寺泊体育館	1966	1,704		23,311	9,913	-	-	-	-	-	廃止済			令和5年3月31日廃止
寺泊	旧金山収蔵庫	1979	1,350		-	-	-	-	-	-	-	廃止・ 除却	収蔵資料を他施設に移転・集約化し、不要となる建物を除却します。	R8	
寺泊	旧寺泊民俗資料館	1980	1,147		-	-	-	-	-	-	-	維持			
寺泊	旧竹森収蔵庫	1976	700		-	-	-	-	-	-	-	集約化 (廃止)・ 除却	収蔵資料を他施設に移転・集約化し、不要となる建物を除却します。	R8	
寺泊	旧ひかり保育園	1982	210	有り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
寺泊	旧寺泊支所車庫	1994	12	有り	-	-	-	-	-	-	-	存続・ 廃止条件 の設定	安全性の観点等から存続又は廃止の条件設定を検討します。	R8～	
寺泊	旧白岩保育園	1981	418		38	21	-	-	-	-	-	売却・ 譲渡又は 除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
寺泊	旧野積小学校プール機械室	1979	32		-	-	-	-	-	-	-	除却	すでに役割を終えているため、除却を進めます。	R9～	
寺泊	旧寺泊老人ホーム	1984	4,156		-	-	-	-	-	-	-	売却又は 除却の検討	老朽化の状況等を考慮し、施設の売却・譲渡又は除却を検討します。	R9～	
栃尾	栃尾いわなの里	1990	244	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
栃尾	上塩収蔵庫	2001	-	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			延床面積は「旧上塩小学校（1階部分・体育館）」に含む。
栃尾	上の原スクールバス車庫	1989	75	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
栃尾	金町車庫	1954	215		-	-	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物を除却します。	R8	
栃尾	金町書類保管庫	1970	397		-	-	-	-	-	-	-	あり方の 検討	行政倉庫としての用途を廃止し、建物の今後のあり方を検討します。	R8	
栃尾	長岡市レクリエーション公園	2003	54	有り	-	2,100	-	-	214	-	-	規模縮 小の検討	利用状況を踏まえ、施設規模縮小の検討を行います。	未定	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の 主 建 築 建 年 物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				〔開 館 日〕	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
栃尾	社会福祉施設(貸付)	1973	750		-	-	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却を進めます。	R9～	
栃尾	精神障害者作業所(貸付)	1970	800		-	-	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却を進めます。	R9～	
栃尾	旧デイサービスセンターおおの苑	1978	552	有り(補強)	9,891	8,746	4,514	↓	364	12	▲61	除却	老朽化により利活用が見込めないため、除却します。	R9～	令和6年度末廃止
栃尾	旧刈谷田川ニューホテル	1981	1,688		-	-	-	-	-	-	-	維持			
栃尾	旧大野倉庫	1997	184		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和6年度除却
栃尾	旧一之貝小学校	1939	282		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
栃尾	旧荷頃小学校	1942	460		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
栃尾	旧消防器具置場(谷内)	1994	16	有り	-	-	-	-	-	-	-	存続・廃止条件の設定	安全性の観点等から存続又は廃止の条件設定を検討します。	R8～	
栃尾	旧消防器具置場(木山沢)	1994	43	有り	-	-	-	-	-	-	-	存続・廃止条件の設定	安全性の観点等から存続又は廃止の条件設定を検討します。	R8～	
栃尾	旧西谷小学校	1973	1,962		-	-	-	-	-	-	-	転用の検討	他の行政用途への転用を検討します。	R8～	
栃尾	旧中野俣小学校	1958	945	有り(補強)	12	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
栃尾	旧栃尾支所	1967	6,938		13,782	14,613	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
栃尾	旧栃尾白山保育園	1967	542		33	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
栃尾	旧半蔵金中学校	1964	465		-	-	-	-	-	-	-	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
栃尾	旧下塩小学校	1965	2,682	有り(補強)	69	56	31	↓	-	-	195,755	売却・譲渡又は除却	利活用の可能性を調査し、売却・譲渡又は除却を進めます。	R8～	
栃尾	旧上塩小学校(1階部分・体育館)	2001	3,688	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
栃尾	旧半蔵金小学校	1985	1,067	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	倉庫使用終了後、売却・譲渡又は除却を検討します。	R11～	

(2)施設別評価結果と方針一覧

地域	施設名	の主要 建築 建物	延床 面積 [㎡]	耐震性	年間利用者数 [人]				開館日 [日]	一日当 たり 利用者 [人]	利用者 一人当たり 管理運営費 [円]	今後の方針			備考
					H27年度	R元年度	R6年度	傾向				施設の 方向性	内容	実施 時期	
栃尾	旧半蔵金小学校スクールバス車庫	1989	30	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	倉庫使用終了後、売却・譲渡又は除却を検討します。	R11～	
栃尾	旧栃尾上の原教職員住宅	1980	107		-	-	-	-	-	-	-	除却の検討	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却を進めます。	R9～	
栃尾	旧栃尾保健福祉センター	1970	668		1,310	1,240	-	-	-	-	-	除却	老朽化の状況等を踏まえ、建物の除却を進めます。	R9	
与板	水防倉庫（馬場丁）	2001	106	有り	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	令和7年度除却予定
与板	除雪機械格納庫（与板）	1989	269	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
与板	旧与板地区公民館黒川分館	1978	205		343	237	303	→	2	152	1,402	あり方の検討	築50年を経過するため、建物のあり方を検討します。	R8～	
川口	川岸倉庫	1987	390	有り	-	-	-	-	-	-	-	売却・譲渡の検討	老朽化の状況等を踏まえ、売却・譲渡又は除却を検討します。	R10～	
川口	貝ノ沢除雪機車庫	1991	90	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
川口	貝ノ沢除雪機車庫（防雪サブセンター）	1975	231		-	-	-	-	-	-	-	維持			
川口	西川口倉庫	1994	305		-	-	-	-	-	-	-	維持			
川口	木沢除雪センター	1986	62	有り	-	-	-	-	-	-	-	維持			
川口	東川口水防倉庫	1982	195		-	-	-	-	-	-	-	維持			
川口	旧木沢小学校プール機械室	1972	8		-	-	-	-	-	-	-	除却	すでに役割を終えているため、除却を進めます。	R9～	

第4章 地域別の取組施設

1 地域別の取組施設一覧

※ 各取組ごとに、取組方針が決定している施設のほか、計画期間中に「検討する施設」を含めて掲載しています。
※ 1施設で複数の取組を行う場合は、それぞれの取組欄に施設名を重複掲載しています。

取組の種類	取組内容 の分類	施設分類	長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口
1 公共建築物の総量の抑制と削減	1 廃止・縮小・転用 (検討を含む。)	02_分庁舎・窓口	ながおか市民センター (機能移転)										
		04_コミュニティセンター・公民館等	上川西コミュニティセンター分室(転用) 阪之上コミュニティセンター(縮小)										
		13_子育ての駅										子育ての駅よいた(移転)	
		18_障害者福祉施設						グループホームかわばた寮					
		22_その他のスポーツ施設	信濃川河川公園	中之島野球場(ナイター機能)	成出運動広場(ナイター機能)	三島運動広場(ゲートボール場、ナイター機能) 三島野球場(ナイター機能)	山古志運動広場	おぐに運動公園(ナイター機能)	和島野球場(ナイター機能)	大河津地区運動広場(ナイター機能)			川口運動公園(ナイター機能)
		26_観光施設(自然体験型)	東山ファミリーランド(キャンプ場) 八方台いこいの森	信濃リバーサイドパーク(ゲートボール場、野外炊飯施設)									
		29_産業振興施設	ものづくり・ロボットスペース										
		34-②_公営駐車場等	大手通地下駐車場(縮小) 大手口駐車場(縮小) 表町駐車場(縮小)										
		34-③_貸付、未利用、その他施設	旧悠久山屋内温水プール(転用) 旧王寺川保育園(転用) 旧白樺保育園(転用) 旧福戸保育園(転用)				長岡市特産品加工所	旧下小国小学校(転用)		汐見台倉庫	長岡市レクリエーション公園(縮小) 旧西谷小学校(転用)		
	2 統廃合・複合化・集約化 (検討を含む。)	03_支所庁舎											川口支所
		04_コミュニティセンター・公民館等											川口コミュニティセンター 大形会館
		05_その他の集会施設	まちなかキャンパス長岡										
		13_子育ての駅											子育ての駅がわぐち
		25_博物館等	長岡震災アーカイブセンター										川口きずな館
		29_産業振興施設	イノベーションスペース										
		34-①_斎場等								寺泊斎場		与板無憂苑斎場	
		34-②_公営駐車場等	長岡駅大手口地下自転車駐車場 長岡駅東口自転車駐車場 長岡駅東口地下自転車駐車場										
		34-③_貸付、未利用、その他施設						小国支所建設機械庫					
	3 存続・廃止条件の設定	34-④_貸付、未利用、その他施設								旧寺泊支所庫庫	旧消防器具置場(谷内) 旧消防器具置場(木山沢)		
		02_分庁舎・窓口	太田コミュニティセンターサービスコーナー										
	4 あり方の検討	03_支所庁舎		中之島支所			山古志支所	小国支所					

1 地域別の取組施設一覧

※ 各取組ごとに、取組方針が決定している施設のほか、計画期間中に「検討する施設」を含めて掲載しています。
※ 1施設で複数の取組を行う場合は、それぞれの取組欄に施設名を重複掲載しています。

取組の種類	取組内容 の分類	施設分類	長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口
1 公共建築物の総量の抑制と削減	4 あり方の検討	04_コミュニティセンター・公民館等	太田コミュニティセンター 中央公民館	中之島コミュニティセンター中通分室	越路公民館 越路公民館十楽寺分館		種草原地区センター	法末集落管理センター		寺泊山ノ脇センター	荷頃地区センター 上塩谷地区センター 西中野俣地区センター 中地区センター 半蔵金地区センター 来伝地区センター		荒谷集会所 川岸集会所 相川三生活改善センター 大島集会所 竹田集落センター 中山生活改善センター 中新田集落開発センター 八郎場集落開発センター
		05_その他の集会施設		中之島講堂（旧中之島支所倉庫）							栃尾表町雁木の駅		
		11_保育園・幼稚園	栖吉保育園 昭和保育園 十日町保育園				竹沢保育園					与板幼稚園	
		16_高齢者福祉施設（デイサービスセンターを除く。）	高齢者センターけさじろ 高齢者センターしなの 高齢者センターふそき 高齢者センターまきやま 高齢者センターみやうち 長岡ロングライフセンター		越路ふれあいの家		山古志地域福祉センターなごみ苑			老人憩いの家タ映荘			
		17_デイサービスセンター	デイサービスセンターけさじろ デイサービスセンターふそき デイサービスセンターまきやま デイサービスセンターみやうち	デイサービスセンターサンパルコなかのしま		デイサービスセンターみしま	デイサービスセンターなごみ苑		デイサービスセンターわしま			デイサービスセンターよいた	
		21_体育館	新産体育館		越路体育館	三島体育センター			和島体育館				
		22_その他のスポーツ施設	希望が丘プール 市営陸上競技場 悠久山野球場 市営スキー場				古志高原スキー場			寺泊海浜公園	とちおファミリースキー場		
		25_博物館等	郷土史料館 如是蔵博物館		長谷川邸					寺泊民俗資料館		栗山苑	
		26_観光施設（自然体験型）			巴ヶ丘自然公園 樹形山自然公園		自然休養地四季の里古志	おぐに森林公園				うまみち森林公園	
		27_観光施設（施設型）	秋山孝ボスター美術館 長岡										
		28_宿泊・研修施設											川口体験交流センター
		32_消防庁舎	長岡消防署新町出張所									与板消防署	小千谷消防署川口出張所
		33_ごみ・し尿処理施設（管理庁舎等）	環境衛生センター										
		34-①_斎場等						小国斎場					
		34-③_貸付、未利用、その他施設	旧ニュータウンいこいの広場 悠久山公園 山本記念公園（山本元帥生家） 水道公園（旧中島浄水場） 長岡駅東西自由通路 旧市営食肉センター	旧老人憩いの家刈谷田荘 旧老人憩いの家さくらの家 中之島支所倉庫		建設機械車庫（三島）	旧虫亀教職員住宅 旧山古志錦鯉総合センター	旧小国歯科診療所 小国建設資材倉庫 小国支所除雪車格納車庫 旧小国公民館八王子分館	和島支所建設機械車庫		旧半蔵金中学校 金町書類保管庫	旧与板地区公民館黒川分館	

1 地域別の取組施設一覧

※ 各取組ごとに、取組方針が決定している施設のほか、計画期間中に「検討する施設」を含めて掲載しています。
※ 1施設で複数の取組を行う場合は、それぞれの取組欄に施設名を重複掲載しています。

取組の種類	取組内容 の分類	施設分類	長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口
1 公共建築物の総量の抑制と削減	5 売却・譲渡（検討を含む。）	18_障害者福祉施設	たんぼぼ										
		25_博物館等	長岡震災アーカイブセンター										
		29_産業振興施設											川口農産物加工所
		31_教職員住宅			越路飯塚教職員住宅	三島日の出町教職員住宅		小国新町教員住宅		寺保教職員住宅	栃尾巻淵教職員住宅		
		34-②_公営駐車場等	大手口駐車場 大手通地下駐車場 表町駐車場										
		34-③_貸付、未利用、その他施設	放置自転車等格納庫 旧ゲストハウス坂井邸 旧桂保育園 旧竹之高地小学校 旧大積小学校 旧伝染病院隔離病舎	旧デライフ中条		旧みしま北保育園	旧種芋原保育園	三橋共同車庫 山野田共同車庫 大貝共同車庫 八王子共同車庫 法末共同車庫 旧上小国小学校 旧廃棄物ストックヤード 上岩田下請等共同作業所 旧長岡消防署小国出張所	旧桐島小学校	旧寺泊老人ホーム 旧白岩保育園	旧中野俣小学校 旧栃尾白山保育園 旧下塩小学校 旧半蔵金小学校 旧半蔵金小学校スクールバス車庫		川岸倉庫 庄司内科医院（閉院後）
	6 除却（検討を含む。）	04_コミュニティセンター・公民館等										よいたコミュニティセンター	
		16_高齢者福祉施設（デイサービスセンターを除く。）					高齢者と子どもの家		高齢者コミュニティセンターゆきわり荘				
		19_診療所					虫亀診療所						
		20_保健センター										与板保健センター	
		25_博物館等						小国民俗資料館（収納庫） 紙の美術博物館			農林業資料館		
		32_消防庁舎									栃尾消防署（移転後の旧庁舎）		
		34-③_貸付、未利用、その他施設	旧勤労青少年ホーム 旧社会福祉センター	旧中之島コミュニティセンター信条分室 旧中之島コミュニティセンター中条分室 旧老人憩いの家日枝の里			萱峠展望台 萱峠牧場 休憩舎（池谷）	旧小国高齢者コミュニティセンター 旧小国芸術会館	八幡林遺跡用地住宅 旧竹森收藏庫 旧野積小学校プール機械室	旧金山收藏庫 旧竹森收藏庫 旧野積小学校プール機械室	社会福祉施設（貸付） 旧栃尾上の原教職員住宅 精神障害者作業所（貸付） 旧デイサービスセンターおおの苑 旧栃尾保健福祉センター 金町車庫		旧木沢小学校プール機械室
3 管理・運営方法の最適化	1 開館日・開館時間の見直し（検討を含む。）	02_分庁舎・窓口	さいわいプラザ										
		05_その他の集金施設	アオーレ長岡（コミュニティ施設分）										
		13_子育ての駅	子育ての駅ちびっこ広場 子育ての駅ながおか市民防災センター 子育ての駅千秋	子育ての駅なかのしま	子育ての駅こしじ	子育ての駅みしま	子育ての駅やまこし	子育ての駅おぐに	子育ての駅わしま	子育ての駅てらだまり	子育ての駅とちお	子育ての駅よいた	子育ての駅がわぐち
		19_診療所					山古志歯科診療所						
		21_体育館	市民体育館 北部体育館 南部体育館	中之島体育館 中之島北体育館	越路体育館 浦体育館	みしま体育館	山古志体育館	小国勤労者体育センター	和島体育館	寺泊スポーツセンター		与板体育館	
		22_その他のスポーツ施設		中之島野球場	成出運動広場	三島運動広場 三島野球場				和島野球場	大河津地区運動広場		川口運動公園

1 地域別の取組施設一覧

※ 各取組ごとに、取組方針が決定している施設のほか、計画期間中に「検討する施設」を含めて掲載しています。
※ 1施設で複数の取組を行う場合は、それぞれの取組欄に施設名を重複掲載しています。

取組の種類	取組内容 の分類	施設分類	長岡	中之島	越路	三島	山古志	小国	和島	寺泊	栃尾	与板	川口
3 管理・運営方法 の最適化	1 開館日・開館時間の 見直し（検討を含 む。）	23_図書館	中央図書館 西地域図書館 南地域図書館 北地域図書館 歴史文書館	中之島地域図書館						寺泊地域図書館	栃尾地域図書館		
		25_博物館等	美術センター								栃尾美術館		
		26_観光施設（自然体 験型）									道院自然ふれあいの森		
		27_観光施設（施設 型）			塚山活性化センター								
		34-③_貸付、未利 用、その他施設	長岡市民防災公園（緑 花センター）										
	2 管理水準の見直し （検討を含む。）	01_本庁舎	長岡市役所本庁舎（ア オーレ長岡）										
		03_支所庁舎		中之島支所	越路支所	三島支所	山古志支所	小国支所	和島支所	寺泊支所	栃尾支所	与板支所	川口支所
		21_体育館						小国勤労者体育セン ター	和島体育館	寺泊スポーツセンター	吉水体育館		
		34-③_貸付、未利 用、その他施設	旧八方台体験センター										
	4 その他の検討・取組	02_分庁舎・窓口	長岡市役所大手通庁舎										
		03_支所庁舎				三島支所（周辺一括管 理）	山古志支所（周辺一括 管理）		和島支所（周辺一括管 理）	寺泊支所（周辺一括管 理）			
		16_高齢者福祉施設 （デイサービスセン ターを除く。）	社会福祉センター	サンバルコなかのしま	越路総合福祉センター						高齢者センターとちお	志保の里荘	川口地域福祉センター 末広荘
		22_その他のスポーツ 施設			越路B&G海洋セン ター				和島B&G海洋セン ター				
		25_博物館等		大竹邸記念館						トキと自然の学習館			
		26_観光施設（自然体 験型）			辨形山自然公園								
4 民間との連携、 民間サービス等 の活用	3 PFIの推進	27_観光施設（施設 型）	旧機那サフラン酒製造 本舗										えちご川口温泉（コ テージ）
		34-③_貸付、未利 用、その他施設	千秋が原ふるさとの森										えちご川口温泉（古民 家）
5 保有財産の有効 活用	1 ホーミングライツの 導入	22_その他のスポーツ 施設	ニュータウン運動公園										
			悠久山野球場										
		34-②_公営駐車場等	大手口ベデストリアン デッキ										
		34-③_貸付、未利 用、その他施設	長岡市民防災公園（な がおか市民防災セン ター）				山古志闘牛場						
	2 広告設置の推進	01_本庁舎	長岡市役所本庁舎（ア オーレ長岡）										
施設数（重複を含む。）			91	21	18	13	23	30	14	22	35	14	26

第5章 機能廃止した建築物の有効活用と処分

1 機能廃止した建築物に関する基本的な考え方

(1) 公共施設の現状と課題

本市においては、近年の人口減少と少子高齢化の進展、さらには社会情勢の急速な変化に伴い、かつて地域コミュニティや行政サービスの中核を担っていた公共施設の多くが、その役割を終え、使用されなくなるケースが増加傾向にあります。これらの使用されていない施設は、単に空き施設として存在するだけでなく、維持管理のための継続的な財政支出を伴い、老朽化の進行とともに防犯・防災上のリスクを高める要因ともなります。

さらに、将来的に避けられない解体工事には多額の費用が見込まれることから、その計画的かつ効率的な処理が大きな課題になっています。

(2) 廃止施設の利活用・処分について

通常、用途廃止される公共施設は、庁内にて他の用途への転用を検討します。そこで転用が見込めない場合は、行政目的のない「普通財産」となり、施設の状況等により、まずは地域利用の希望を募ります。

第1期計画期間では、こうした普通財産について、売却見込みの有無にかかわらず市ホームページにて公表し、買受希望を継続的に募り、希望者がいた場合は原則一般競争入札にて売却してきました。

今後はこれに加えて、廃止施設のうち、利活用や処分に配慮や条件の検討が必要となる財産（例：旧学校など）や事業化の可能性が見込まれる財産について、まずはサウンディング型市場調査を行い、その利活用の可能性や市場ニーズの把握を行います。

サウンディング型市場調査を実施し提案や希望のなかった施設や、一定期間市ホームページ上に公表しても買取希望者が現れなかった施設については、施設の状況や施設の維持にかかる経費等を総合的に判断し、建築物の除却について検討します。

2 サウンディング型市場調査の活用

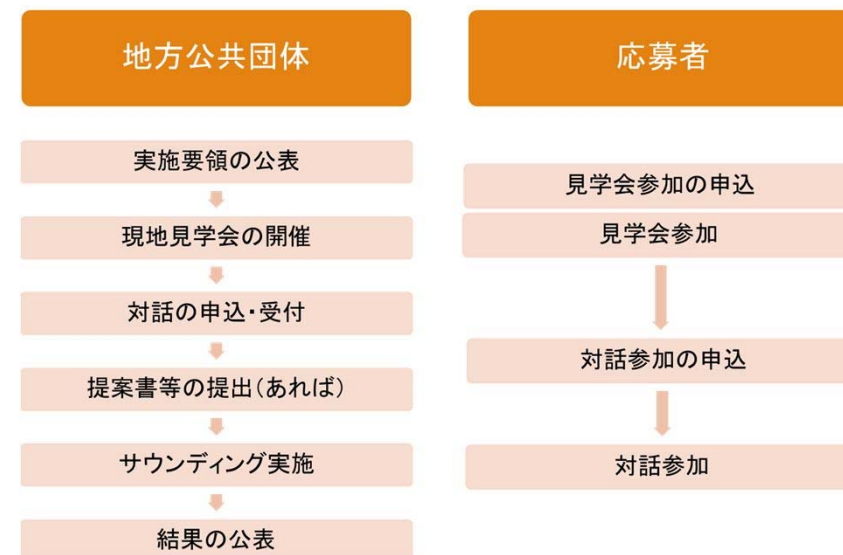
(1) サウンディング型市場調査とは

サウンディング型市場調査とは、土地や建物の利活用について、広く意見や提案を求め、「対話」を通じて対象不動産の新たな利活用の可能性や、市場ニーズを把握するために行われる調査のことです。この手法は参加者が自由に意見を述べることができ、双方向のコミュニケーションによる意見交換が可能です。

施設の統廃合や複合化が進むことで用途廃止される施設も増加し、市が保有する未利用施設は増加しています。そのため、今後はこの調査を通じてさらなる効果的な財産の処分・利活用に取り組む必要があります。

(2) サウンディング型市場調査後の方針について

- ・具体的な意見や提案のあった施設については、提案を参考に今後の処分・利活用の方針の検討を進めます。
 - ・提案や希望のなかった施設については、老朽化の状況や維持管理のコストを総合的に考慮し、建物の除却を検討します。
- 建物の除却後は、更地として改めて利活用を検討します。



3 公共施設等適正管理推進事業債を活用した計画的な除却

(1) 公共施設等適正管理推進事業債の活用推進

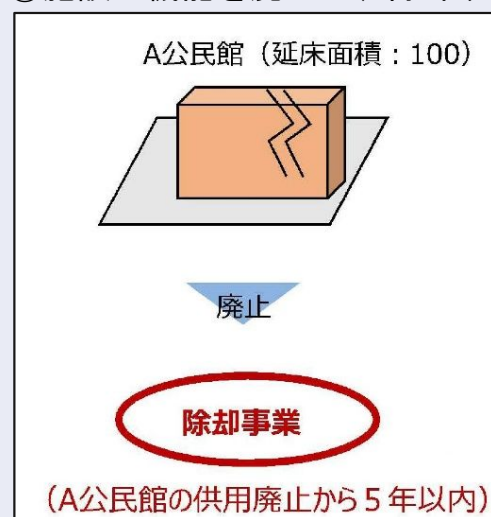
建築物の除却を進めるに当たっては、高額な費用が見込まれる解体工事を計画的かつ円滑に進めるため、地方自治体の公共施設の老朽化対策を支援するために国から設けられた「公共施設等適正管理推進事業債」を積極的に活用します。本事業債は、令和7年度に公共施設の集約化・複合化等に伴う除却事業が拡充され、活用の範囲が広がりました。公共施設等の除却や再編に要する経費に対し、充当率や交付税措置により、地方公共団体の財政負担を軽減するものであり、計画的な除却を円滑に実施するための重要な財源となります。

(2) 計画的な除却推進と財政負担の軽減

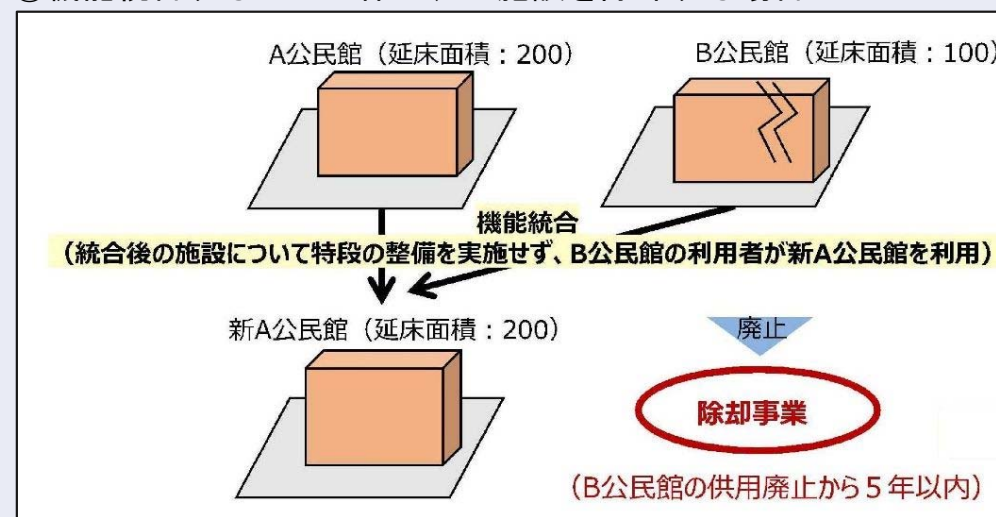
公共施設等適正管理推進事業債の適用を受けるには、原則として供用廃止から5年以内に行われる施設の除却に限られるといった、特定の要件を満たす必要があります。このため、今後想定される除却案件について、個々の施設の供用廃止時期を把握し、本事業債を活用して計画的に施設の除却を進めることで、財政負担の軽減と跡地の利活用を図ります。

対象となる事業イメージ

①施設の機能を廃止し、除却する場合



②機能統合することに伴い、旧施設を除却する場合



第6章 民間企業と連携した取組

1 基本的な考え方

公共建築物の整備・管理運営において、限られた財源や人材の中で住民に対するサービスの質を維持し、更には向上させていくためには、民間と連携すること（PPP：Public Private Partnership、官民連携）は非常に重要です。

民間の持つ経営ノウハウや技術力、柔軟な発想を取り入れることで、公共サービスの効率化や多様化が可能となり、地域の魅力や、住民の満足度向上にもつながることから、市でも積極的に導入を目指します。

期待されるメリット	◆ サービスの質の向上と多様化 民間ならではの創意工夫や企画力、専門的なノウハウを取り入れることで、より質の高い、または利用者ニーズに合った多様なサービスを提供 ◆ 行政の人的資源の最適化 維持管理など一部の業務を民間委託することで、行政職員は政策立案や重点課題への対応に集中 ◆ 財政効率の向上とコスト削減 民間の経営ノウハウや技術力を活用することで、設計・建設・維持管理・運営などの業務全体で効率化を図り、コストを低減 ◆ 地域経済の活性化 地元事業者のビジネス機会が増えることで、地域の雇用創出や経済活動を活性化
目指す方向性	◆ 「効率化」から「価値創造型」の連携へ 単なるコスト削減や行政の補完としてだけでなく、課題の解決や新たな価値創造を目的とした戦略的な連携を強化 ◆ 多様な連携手法の活用 既に広く導入している指定管理者制度や単純な業務委託に加え、PFI（Private Finance Initiative）など、リスク分担や民間の裁量を広げる多様な手法を、施設の特性や地域の課題に応じて柔軟に選択・活用 ◆ 官民対話の促進 事業者の創意工夫を引き出すため、事業の初期段階から行政と民間が対話するを推進 ◆ 地域の魅力向上 公共建築物単体で考えるのではなく、まちづくりや地域活性化に波及効果をもたらすような観点で推進

2 具体的な取組

民間と連携することで効果が期待できる取組について、導入を検討・推進します。

【取組例】

	概要	期待される効果
P a r k－P F I	民間事業者が収益施設（カフェ、売店など）を設置・運営することで得られる収益を活用しつつ、施設を整備・管理するもの	・ 魅力的な空間づくり ・ 効率的な維持管理 ・ 持続可能な管理体制の構築
包括管理委託	施設の維持管理業務（点検、修繕、清掃など）を一括して民間事業者に委託するもの	・ 業務の効率化 ・ 専門業者による不具合対応の迅速化 ・ 施設の長寿命化
ネーミングライツの導入	市有施設等の名称に、企業名、商品名等を愛称として付与する代わりに、ネーミングライツパートナーからその対価を得るもの	・ 民間事業者等からの提案による市民サービス向上 ・ 財源の確保 ・ 民間事業者等の広告媒体として活用されることによる地域経済の活性化への寄与

第7章 計画策定後の流れ

1 本計画期間中の具体的な進め方

本計画は、市民ニーズの変化や利用状況などに応じて見直す必要があることから、PDCAサイクルの考え方に沿って、毎年進捗管理を行います。

また、新たに整備する施設や更新する施設についても、本計画で示す基本的な考え方を踏まえ、十分な検討を行うとともに、その管理運営費は、機能を引き継ぐ施設や集約化・複合化する既存施設の管理運営費の範囲内に収め、負担を増やさないことを目標とします。

2 進捗管理

- (1) 市有施設等現況調査を毎年行い、利用者数や施設管理運営費等の実績を把握し、指標に対する状況を確認します。
- (2) 施設ごとの取組の実施結果を毎年調査し、達成状況を確認します。
- (3) 上記(1)・(2)の結果を検証し、市ホームページ等でわかりやすく公開するとともに、必要に応じて取組の方向性や手法を見直します。

3 長岡市公共建築物長寿命化計画との連携について

本計画において当面の利用が見込まれる施設は、「長岡市公共建築物長寿命化計画」の具体的な保全方法に従い、傷んでから修繕を行う「事後保全」ではなく、傷みが少ないうちに行う「予防保全」を推進することで、長寿命化を図ります。本計画による管理運営費の削減分を「予防保全」の推進に充てることで、さらなる管理運営費の削減と、計画的で効率的な施設管理の実現を目指します。

用語集（五十音順）

き	機能移転	施設の機能を他の場所に移転することです。
	機能廃止	利用価値の低下した施設や当初の目的を達成したと判断される施設等の供用をやめることです。
こ	更新	現状存在する施設や設備の全部または一部を撤去し、新しい施設や設備を設置することです。
さ	サウンディング調査	市有地などの有効活用に向けた検討にあたって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査です。
し	指定管理者制度	多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理・運営に民間の能力を活用し、住民サービスの向上や管理の効率化等を図ることを目的として、長岡市が指定した民間事業者等（指定管理者）に、公共施設の管理運営等を委ねることができる制度です。
	集約化	既存の同種の公共施設等を統合し、一体の施設として新たに整備、または一方の施設を廃止することです。
	受益者負担	特定の者がサービスを利用して利益を受ける場合に、その受益の限度において受益者（利益を受ける側）から使用料や手数料などとして、サービスに掛かる経費を負担してもらうことです。
た	大規模改修	改修工事において、数十年に一度、施設全体に対して実施する改修工事です。施設の長寿命化に加え、バリアフリー対応など機能向上に資する内容を含みます。
	耐震基準	建築基準法に定められている建物の耐震性能に関する基準のことです。
	多機能化	既存の施設に、新たに異なる種類の機能を持たせることです。
ち	長寿命化	予防保全を行ったり、機能を社会的要求に合わせて改修したりすることにより、建築物の目標使用年数を、構造躯体の物理的な寿命（構造耐力上実質的に耐えられる年数）に近づけることです。

ね	ネーミングライツ	公共施設等に対する愛称を付与する権利のことです。施設等の管理運営の財源確保のための重要な手法の一つとされています。
	ネーミングライツパートナー	公共施設等に対する愛称を付与する権利者のことです。ネーミングライツに応募し審査で選定された法人・団体が権利者となることができます。
ひ	P F I	Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、民間資金や技術力を活用して公共施設の設計・建設・維持管理等を行う事業手法のことです。
	P D C A サイクル	Plan（計画）・Do（実行）・Check（評価）・Action（改善）を繰り返すことによって、継続的に改善していく手法のことです。
ふ	複合化	既存の異なる種類の公共施設等を統合し、これらの機能を独立した形で一つの建築物内に設置することです。
	複合施設	同一の建築物内等に複数種類の機能が設置されている施設のことです。
	複式学級	2つ以上の学年を1つにした学級のことです。
ほ	包括管理委託	公民連携により、業務水準の統一・向上や事務の効率化等を図るため、複数施設の保守管理や修繕等の業務を一括して施設管理事業者に委託する手法です。「包括施設管理業務委託」ともいいます。
	法定耐用年数	資産の種類・構造・用途などに応じて定められた税法上の耐用年数（建築物の寿命としての年数）のことです。減価償却費等の計算に用います。

長岡市公共建築物適正化計画第2期計画

発行日 令和8年 月 日

発 行 長岡市

編 集 長岡市財務部財産マネジメント課

〒940-0062

新潟県長岡市大手通2丁目6番地 フェニックス大手イースト6F

TEL 0258-35-1122（代表）

FAX 0258-39-2325

E-mail f-management@city.nagaoka.lg.jp